

県営住宅外江団地下水道接続工事

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	表紙・図面リスト	—
M-02	機械設備工事 特記仕様書(1)	—
M-03	機械設備工事 特記仕様書(2)	—
M-04	全体配置図・付近見取図	S=1/300
M-05	屋外配管平面図(1)(改修後)	S=1/200
M-06	屋外配管平面図(2)(改修後)	S=1/200
M-07	屋外配管平面図(3)(改修後)	S=1/200
M-08	屋外配管平面図(4)(改修後)	S=1/200
M-09	排水縦断図(1)	S=1/200
M-10	排水縦断図(2)	S=1/200
M-11	排水縦断図(3)	S=1/200
M-12	排水縦断図(4)	S=1/200
M-13	屋外配管平面図(1)(既設・撤去)	S=1/200
M-14	屋外配管平面図(2)(既設・撤去)	S=1/200
M-15	屋外配管平面図(3)(既設・撤去)	S=1/200
M-16	屋外配管平面図(4)(既設・撤去)	S=1/200
M-17	57棟用浄化槽1 撤去詳細図	S=1/20
M-18	57-1、2、3棟用浄化槽2 撤去詳細図	S=1/20
M-19	58棟用浄化槽3 撤去詳細図	S=1/30
M-20	59-1、2棟用浄化槽4 撤去詳細図	S=1/20
M-21	集会所用浄化槽5 撤去詳細図	S=1/30
E-01	浄化槽電源設備 撤去図	S=1/100 S=1/300



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 境港市外江町

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	57棟 【本工事範囲】		4		() 項	計16住戸
2	57-1,2,3棟		2		() 項	計12住戸
3	58棟 【本工事範囲】		4		() 項	計16住戸
4	59-1,2棟		2		() 項	計8住戸
5	集会所		1		() 項	

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考	
● 空調設備									
● 冷暖房設備									
● 換気設備									
● 排煙設備									
● 自動制御設備									
● 衛生器具設備									
● 給水設備									
◎ 排水設備							○		
● 給湯設備									
● ガス設備									
◎ 浄化槽設備							○	既設浄化槽上部GL-500mmまで撤去	
● 消火設備									
● さく井設備									
◎ 電気設備工事							○	○	屋内工事は集会所の天井内配線撤去のみ
● 建築工事									

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生機 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 通心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
◎ 排水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式
	水源 ● 水道水 ● 井水
	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
	放流先 汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄化槽 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて◎印の標準仕様等による。
 - 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下「標準仕様書」という。）
 - 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）
 - 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下「標準図」という。）
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和元年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は◎印の付いたものを適用する。
 - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と⊗印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 電気設備 工事仕様書による。

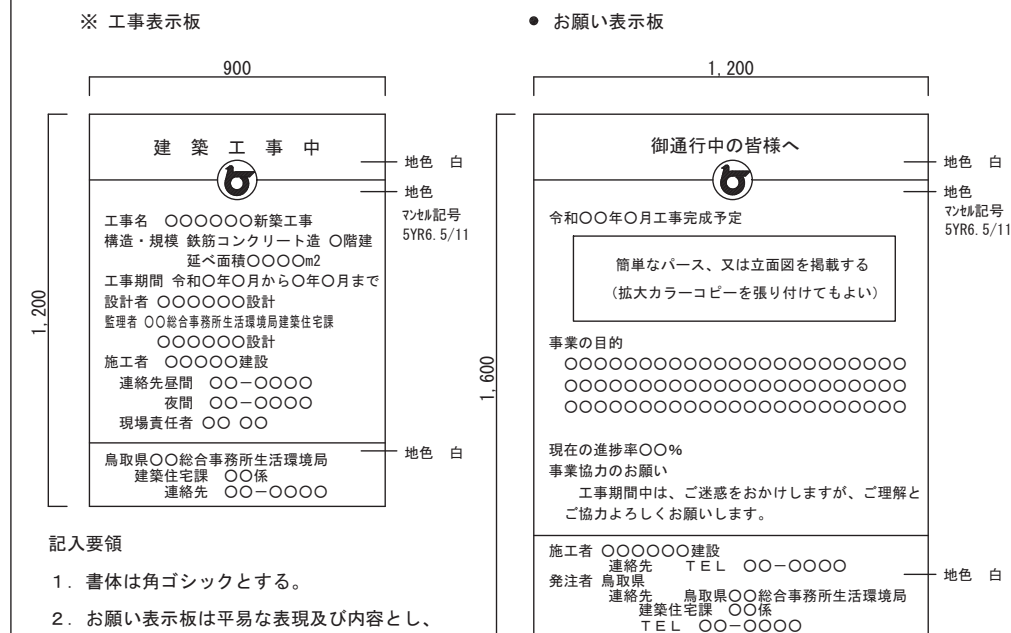
項目	特記事項																											
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。																											
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																											
③ 発生材の処理等	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り (● 配管用保温材) アスベスト含有設備資材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等) は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ◎ 有り (◎ コンクリート塊 ◎ アスファルトコンクリート塊) ● 建設発生木材 ()																											
④ 機材等	イ) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ロ) (一社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (c) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承認図様式集 (令和元年版) によるほか、監督員の指示による。																											
⑤ 機材の品質・性能証明	JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (c) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承認図様式集 (令和元年版) によるほか、監督員の指示による。																											
⑥ 機材の承認図	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。																											
⑦ 施工図等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。																											
⑧ 完成写真等	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>◎ 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>◎ 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	◎ 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	◎ 要 ● 不要												
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																								
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	◎ 要 ● 不要																								
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	◎ 要 ● 不要																								
⑨ 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 完成図原因</td><td>完成図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>◎ 完成図 ◎ 完成図 (縮小版) ◎ 施工図</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 完成図書</td><td>◎ 完成図 (縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 (A4版ファイル)</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署の届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></tbody></table> ◎ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。	区分	名称	部数	※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1部	※ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図 (縮小版) ◎ 施工図	※ 2部 ● 部	※ 完成図書	◎ 完成図 (縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ 2部 ● 部	※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部	※ 保証書		1部	※ 官公署の届出書類		1部						
区分	名称	部数																										
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1部																										
※ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図 (縮小版) ◎ 施工図	※ 2部 ● 部																										
※ 完成図書	◎ 完成図 (縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ 2部 ● 部																										
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部																										
※ 保証書		1部																										
※ 官公署の届出書類		1部																										
⑩ 技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ◎ 配管 (◎ 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調和機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級) 《技能士名札参考図》 <table border="1"><tr><td>55 mm</td><td></td><td>技能士の職種により色を変えることも可</td></tr><tr><td></td><td>職種 配管</td><td>技能士の職種</td></tr><tr><td></td><td>作業名 建築配管作業</td><td>技能士の職別</td></tr><tr><td></td><td>級別 1級</td><td>技能士の級別</td></tr><tr><td></td><td>氏名 ○山○夫</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td></td><td>勤務先 ○○工務店</td><td></td></tr><tr><td></td><td>自宅 鳥取市</td><td></td></tr><tr><td></td><td>技能士番号 00-0-000-00-0000</td><td></td></tr><tr><td></td><td>発行 ○○○○○○○○ 国</td><td>名札の発行元</td></tr></table> 主要事項 (職種、作業名、級別、氏名、住所、技能士番号、発行元、本人写真) が記載してあればレイアウトは問わない。	55 mm		技能士の職種により色を変えることも可		職種 配管	技能士の職種		作業名 建築配管作業	技能士の職別		級別 1級	技能士の級別		氏名 ○山○夫	技能士本人の住所		勤務先 ○○工務店			自宅 鳥取市			技能士番号 00-0-000-00-0000			発行 ○○○○○○○○ 国	名札の発行元
55 mm		技能士の職種により色を変えることも可																										
	職種 配管	技能士の職種																										
	作業名 建築配管作業	技能士の職別																										
	級別 1級	技能士の級別																										
	氏名 ○山○夫	技能士本人の住所																										
	勤務先 ○○工務店																											
	自宅 鳥取市																											
	技能士番号 00-0-000-00-0000																											
	発行 ○○○○○○○○ 国	名札の発行元																										

一般共通事項

- 他工事との取合
- 工事用水・電力・その他
- 表示板
- 工事用仮設備
- 土工事
- 耐震措置
- 図形等の表示
- 電気容量及び機器表示
- 保温工事

他工事との取合い		建築	電気設備	機械設備
● コンクリート床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み 補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット (蓋を含む)		※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 天井点検口		※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●

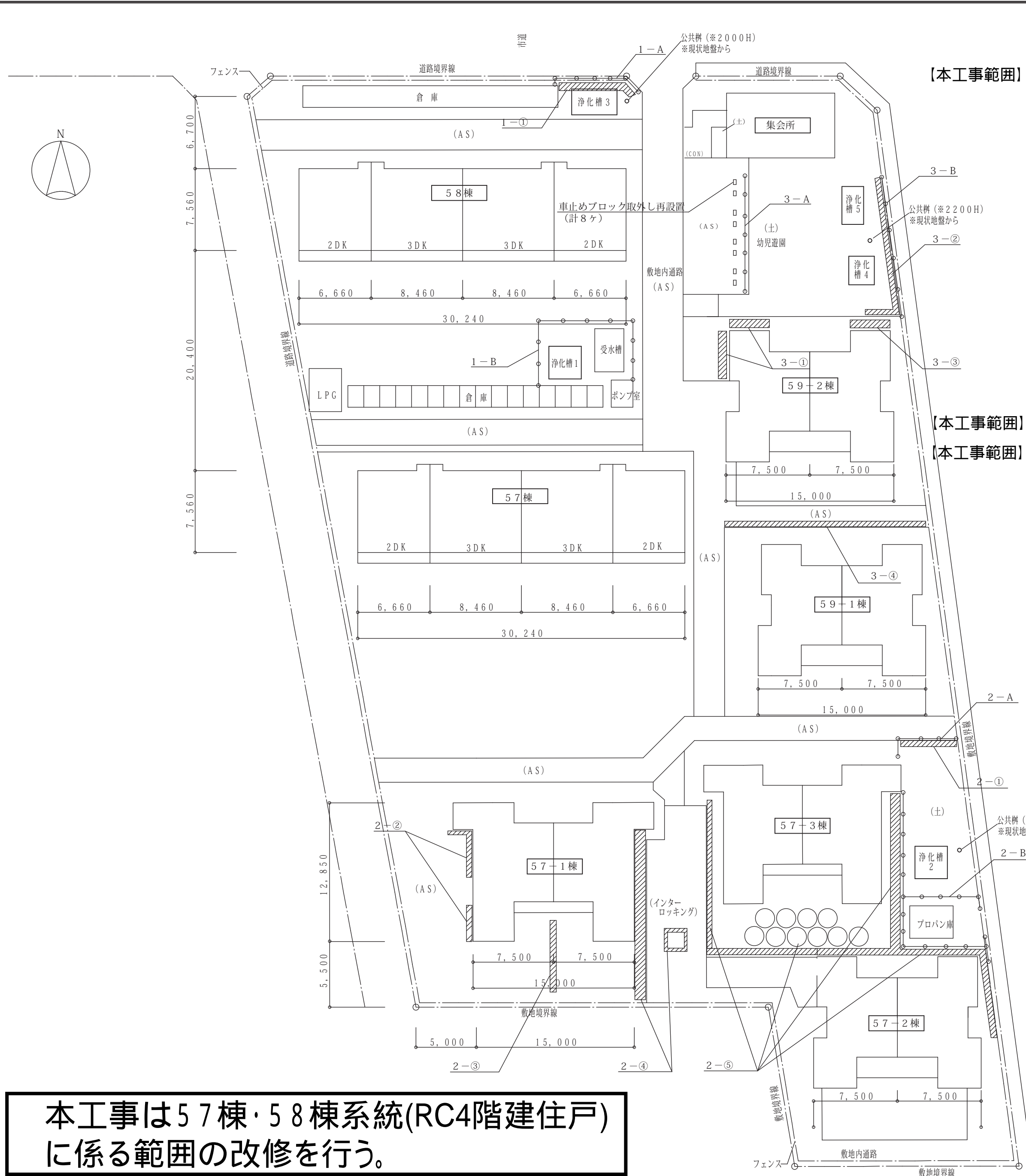
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
捨ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



- 記入要領
- 書体は角ゴシックとする。
 - お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。
- 構内に作ることが ● 出来ない
- (ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (◎ コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
◎ 山砂の類 (浄化槽の埋戻し土)
● 真砂土 ()
(イ) 建設発生土処分 ● 構内に散ららし ● 構内の指示する場所に堆積
- 「官庁施設の総合耐震計画基準及び解説・平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修)による。設計用水平地震力は、機器の荷重 (kN) に、地球係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。図面に特記のない場合、設計用標準水平震度は次による。
- | 設置場所 | 機器種別 | ● 特定の施設 | | ● 一般の施設 | |
|-------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | ● 重要機器 | ● 一般機器 | ● 重要機器 | ● 一般機器 |
| 屋上・塔屋 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振設置機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水槽類 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振設置機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地階・1階 | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振設置機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
- 重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ● タンク類
- 注) 設計用鉛直地震力は水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- 機器類は、図示する形状、配管などの取だし位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。
- 保温工事
- 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 保温チューブ (厚さ◎)
 - 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ◎))
 - 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - ダクト (● ロックウール ● グラスウール)
 - 燃熱熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール) とする。
 - 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● S U S鋼板)

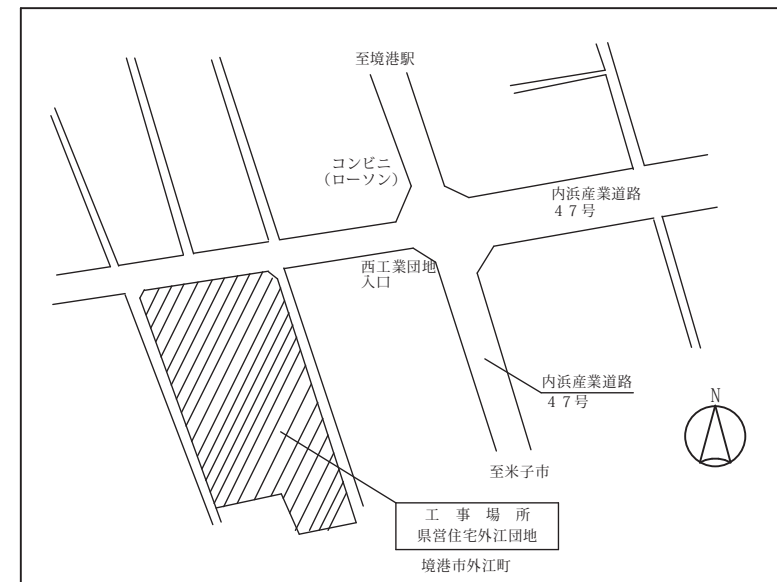


一般 共通 事項	20 銅管類の防食処置	地中埋設 ● ベトラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート ● 標準図(施工3) (● (1)絶縁フランジ (● (2)絶縁シート) ※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製) ※ ベローズ形 ● スリーブ形	12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。 (ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。) (イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●	⑧ 排水設備	① 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内隠排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中) ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管	
	21 絶縁継手	● 標準図(施工3) (● (1)絶縁フランジ (● (2)絶縁シート)	13 ダンパー	※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。 (ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。) (イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●		2 漏水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に漏水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない	
	22 防振継手	※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製) ※ ベローズ形 ● スリーブ形	14 ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法(● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) (長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法		3 バイブシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない	
	23 伸縮管継手	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。) (ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面 (ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠べいされる部分	15 吹出口・吸込口	● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工47)を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。		4 煙試験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう	
	24 塗装	(カ)カラー亜鉛鉄板面 (キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所()	16 チャンパー等	接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。 形式はビーター管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ポイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニート形空調機と機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形		9 給湯設備	● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K	
	25 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322による拡管式とする。 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管	17 消音内貼り	線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。 形式はビーター管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ポイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニート形空調機と機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形		10 消火設備	(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS (ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる) ● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡送水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡放水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(● 1号 ● 2号) ● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式	
	26 溶接配管の検査	非破壊検査の適用(● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 抜取率(● 標準仕様書による ● %)	18 瞬間流量計及び流量測定口	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工36(g)) 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		11 ガス設備	1 都市ガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 (ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 (ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図(施工72)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)
	27 埋設表示	● 地中埋設機材を隠す箇所には設置する。 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)	19 定風量・変風量ユニット	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		12 浄化槽設備	1 処理種別及び方式	● 小規模合併処理(● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式() () ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニート型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m ³ /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 埋戻し土 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による)
	28 支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質(● 一般飲料水適否検査 ●) ● その他水質等(● 雑用水 ● 空調用流体 ●)	20 温度計	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		13 足場	2 処理能力	● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニート型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m ³ /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 埋戻し土 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による)
	29 総合試運転調整	呼び径60Su以下の継手は、SAS322による拡管式とする。 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管	21 冷温水管の空気抜き	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		35 工事安全計画書等	3 排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 埋戻し土 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による)
30 アスベスト含有建材の処理	建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	22 空調機用トラップ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	36 室内空気中の化学物質の濃度測定	4 埋戻し土	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)		
31 補修など	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	23 銅板製煙道	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	37 火災保険等	5 排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 埋戻し土 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による)		
32 はつり	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	24 オイルサービスタンク	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	38 グリーン購入	6 土留め工事	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)		
33 はつり工事における非破壊検査	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	25 地下オイルタンク	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	39 鳥取県公共工事環境配慮指針	7 消毒薬	※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。		
34 足場	探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	26 油面制御装置	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	40 建築物省エネ法	8 マンホールふた	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)		
35 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)	27 フィルター等付属品	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		9 消毒薬	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)		
36 室内空気中の化学物質の濃度測定	工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)	28 パッケージ空調機の能力表示	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
37 火災保険等	グリーン購入は次のものとする。 ● 空調用機器() ● 衛生器具() ● 断熱材() ● 配管材(● 再生硬質塩化ビニル管) ● その他()	29 防振吊り及び支持金物	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
38 グリーン購入	グリーン購入は次のものとする。 ● 空調用機器() ● 衛生器具() ● 断熱材() ● 配管材(● 再生硬質塩化ビニル管) ● その他()	4 1 ダクト	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
39 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事	5 2 排煙口	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
40 建築物省エネ法	対象工事	3 排煙口開放及び復帰方式	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件	4 4 排煙設備	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
2 冷暖房設備	2 冷却水管	5 3 小便器	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					
3 換気設備	3 冷水・温水・冷温水管	4 4 自動水栓	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式(側圧計)とする。 据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工31)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。					



庭木伐採根リスト

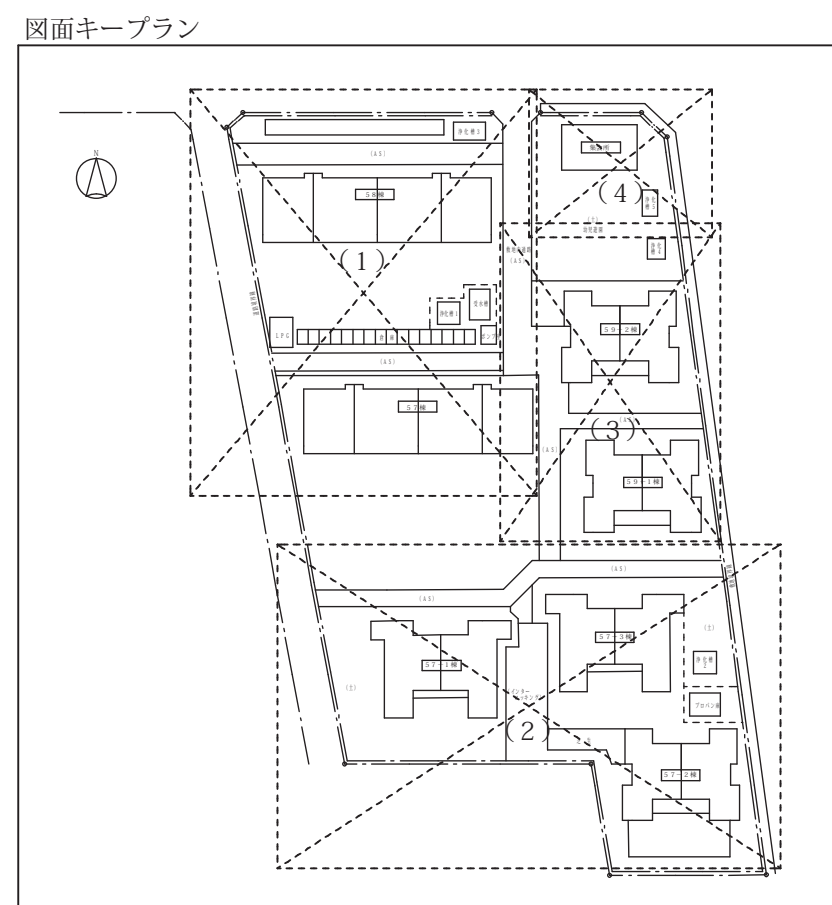
1-①	サザンカ	7本
2-①	サザンカ	10本
2-②	ベニカナメ	6本
2-③	サザンカ	2本
2-④	ベニカナメ	8本
2-⑤	サザンカ	3本
3-①	ベニカナメ	5本
3-②	クロガネモチ	1本
3-③	サザンカ	7本
3-④	ベニカナメ	13本
3-⑤	サザンカ	24本
3-⑥	クワの木	1本



付近見取図

ネットフェンス取外し再設置リスト

1-A	H1200, 支柱7本
1-B	H900, 支柱11本
2-A	H900, 支柱5本
2-B	H900, 支柱17本
3-A	H1200, 支柱7本
3-B	H1200, 支柱6本



※支柱及び基礎は再利用とし、番線・ボルトナットは更新すること。
 ※同じ配置に再設置するため、新設する小口径樹はフェンスライン上及び支柱基礎を避けること。

既設浄化槽(撤去)

	仕様	排水系統	撤去後の表層仕上げ
【本工事範囲】 浄化槽1	分離接触ばっ気方式(単独処理) 60人槽FRP製 プロア1φ100V150W 上部・下部スラブ3000×3000×200H 支柱HP200φ×4本	57棟	砕石敷き 150t
浄化槽2	分離接触ばっ気方式(単独処理) 50人槽FRP製 プロア1φ100V150W 上部・下部スラブ3000×3000×200H 支柱HP200φ×4本	57-1棟 57-2棟 57-3棟	土で整地
【本工事範囲】 浄化槽3	分離接触ばっ気方式(単独処理) 60人槽FRP製 プロア1φ100V200W 上部・下部スラブ4200×2400×150H 支柱HP150φ×4本	58棟	土で整地
浄化槽4	分離接触ばっ気方式(単独処理) 30人槽FRP製 プロア1φ100V35W 上部・下部スラブ2650×2350×150H 支柱HP200φ×4本	59-1棟 59-2棟	土で整地
浄化槽5	分離接触ばっ気方式(単独処理) 21人槽FRP製 プロア1φ100V35W 上部・下部スラブ3500×2000×150H 支柱HP200φ×4本	集会所	土で整地

※各プロア用のRCブロック開き工物は残置とする。
 ※各浄化槽撤去詳細については別図参照のこと。

工事概要

- 埋設排水配管を新設し、敷地内の公共樹に接続する。
- 下水切替後不要となる既設樹・埋設排水配管は原則として撤去とする。(残置は図示による。)
- 埋設排水配管の新設に伴い、ルート上の干渉する恐れのある既設埋設配管・配線及び側溝等については十分留意して施工すること。
- 排水樹・埋設排水配管の新設及び撤去に伴い、大きく干渉する既設樹木・植栽については原則として撤去とし、既設の側溝・フェンス・緑石・擁壁等については現状復旧とする。
- 既設浄化槽は廃止とし、全撤去ではなく上部のみ撤去とする。(※詳細は別図参照) ※(汲み取り・清掃は別途工事とする)
- 団地住民は生活しながらの工事となるため、工事期間中の住民用仮設トイレ(1ヶ)は本工事とする。
 ※(仕様:スロープ付き車いす対応・電源無し・給水管接続不要の簡易水洗タイプ・汲み取り式)
- 全ての撤去樹木(詳細別表参照)は移植せず伐根処分とする。
- 工事作業中は出入口に交通誘導員を配置する。

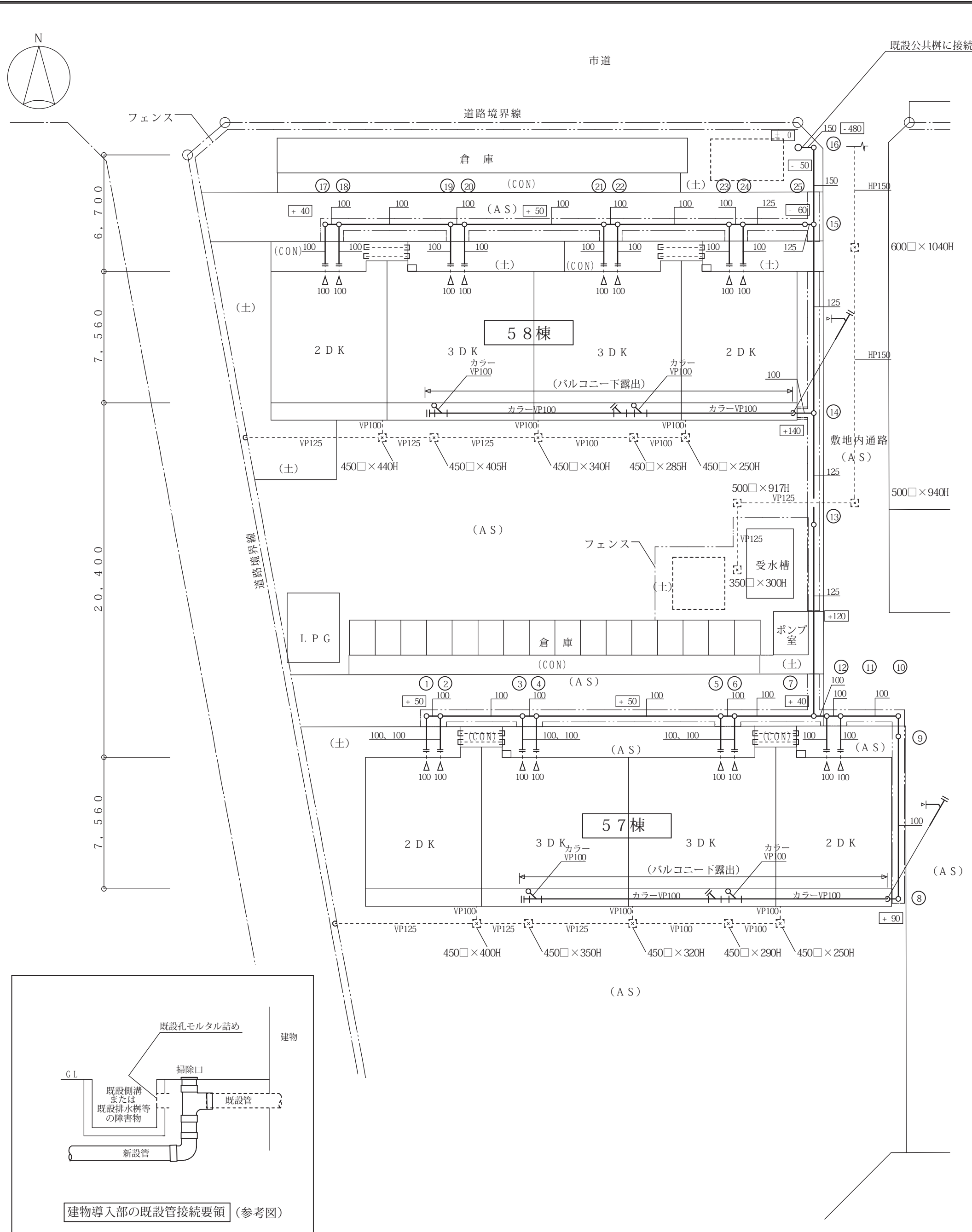
本工事は57棟・58棟系統(RC4階建住戸)に係る範囲の改修を行う。



一級建築士事務所/建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 296972 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

承認 管理技術者 担当 作図
 縮尺 1/300
 設計年月日 2021.09

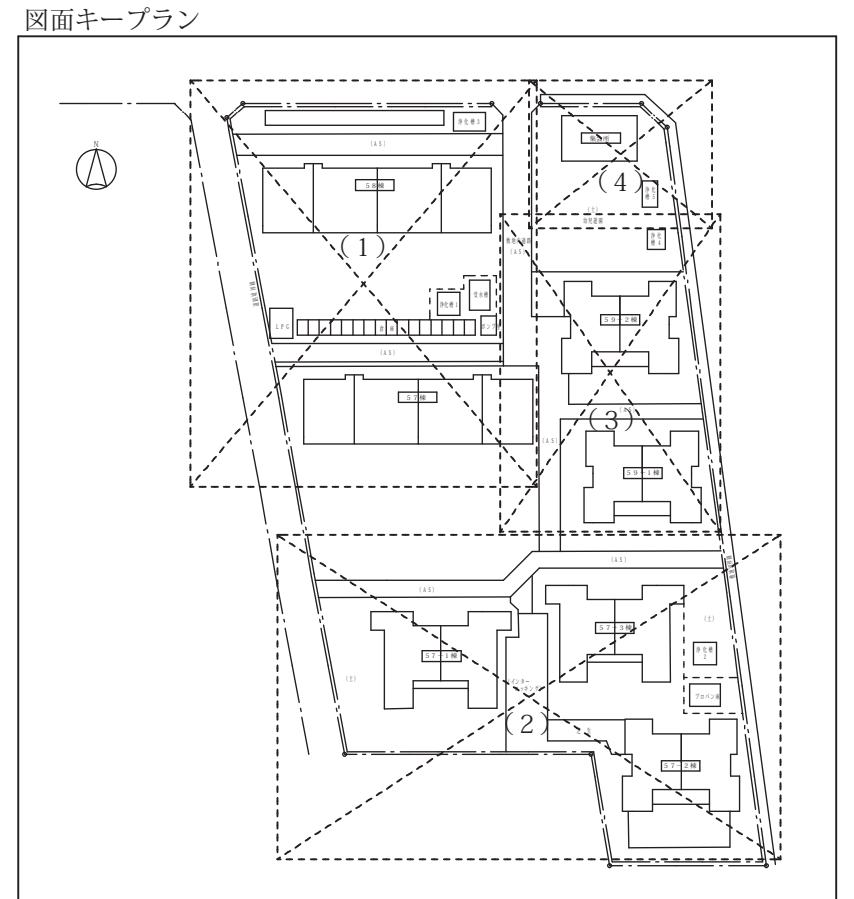
工事名称 県営住宅外江団地下水道接続工事
 図面名称 全体配置図・付近見取図
 図面番号 M-04 / 21
 No



凡例 (改修)

	太線は新設を示す。
	点線は既設を示す。(残置)
	既設配管との接続を示す。
	既設管のキャップ止めを示す。
	A S 舗装撤去復旧範囲を示す。(A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。(C-15-15)

※白線、駐車番号等は復旧すること。



樹リスト (58棟)

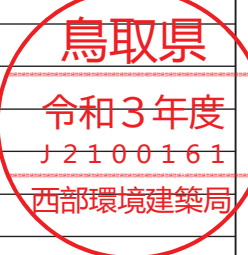
記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
17	塩ビ製小口径樹	100-200 90L	防護蓋T8	700	+40	
18	"	" 90Y	"	720	+40	
19	"	" 90Y	"	810	+50	
20	"	" 90Y	"	830	+50	
21	"	" 90Y	"	930	+50	
22	"	" 90Y	"	950	+50	
23	"	" 90Y	"	1030	+50	
24	"	125-200 90Y	"	1050	+50	
25	"	" DR	"	入:980	-60	出:1220

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

樹リスト (57棟)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
1	塩ビ製小口径樹	100-200 90L	防護蓋T8	700	+50	
2	"	" 90Y	"	720	+50	
3	"	" 90Y	"	780	+50	
4	"	" 90Y	"	800	+50	
5	"	" 90Y	"	920	+50	
6	"	" 90Y	"	940	+50	
7	"	125-200 WLS	"	1010	+40	
8	"	100-150 90L	"	450	+90	
9	"	100-200 DR	"	入:500	+40	出:870
10	"	" 90L	"	900	+40	
11	"	" 90Y	"	950	+40	
12	"	" 90Y	"	970	+40	
13	"	125-200 ST	"	1210	+120	
14	"	" 90Y	"	1310	+140	
15	"	150-200 90Y	"	1230	-60	
16	"	" 90L	樹脂製標準蓋	1300	-50	
	既設公共樹	(150-300) マルチ	樹脂製標準蓋	(2000)	±0	管底深さは樹天端より

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。



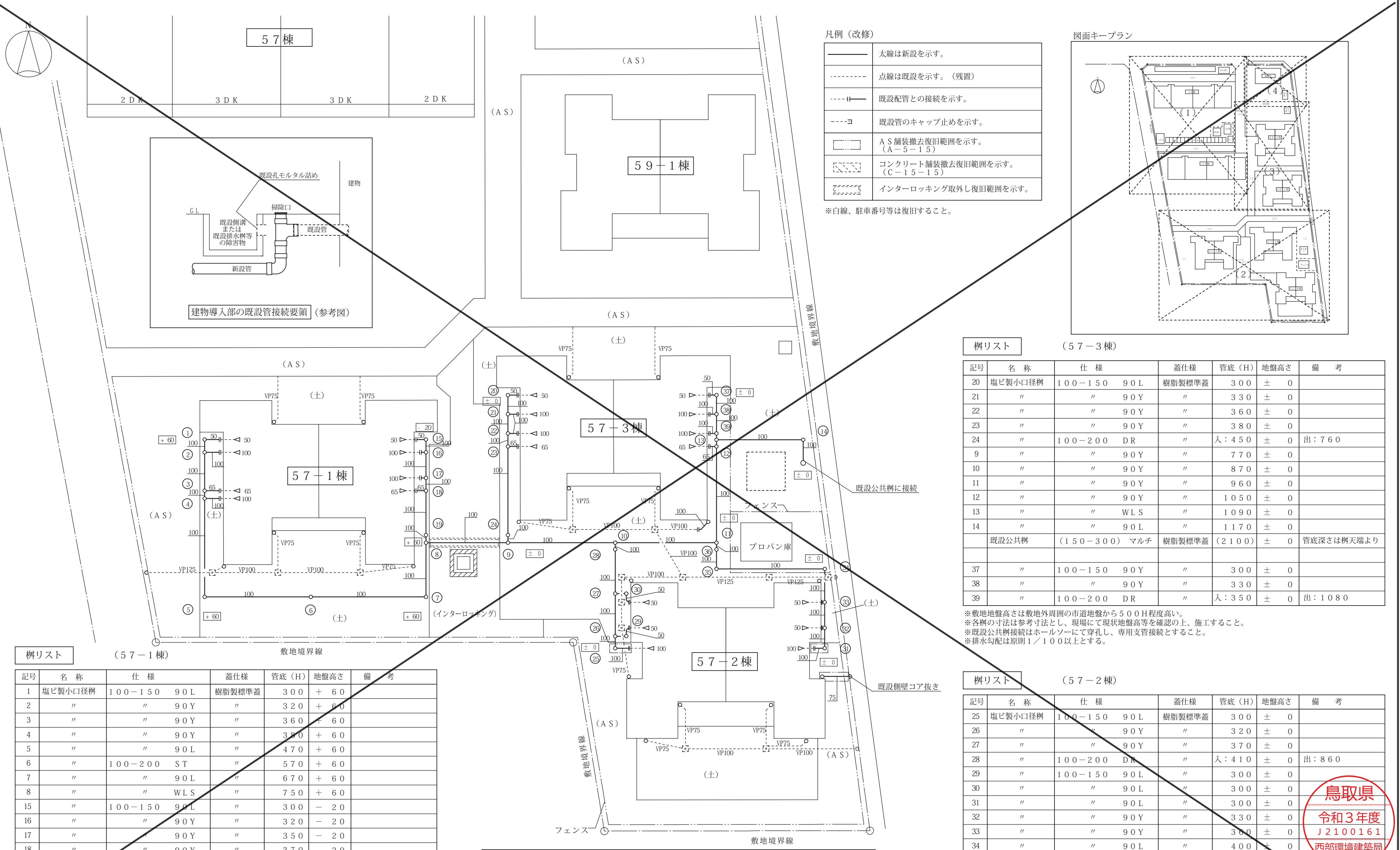
一級建築士事務所/建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 296972 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

承認 管理技術者 担当 作図
 田村 角田 米原 米原

縮尺 1/200
 設計年月日 2021.09

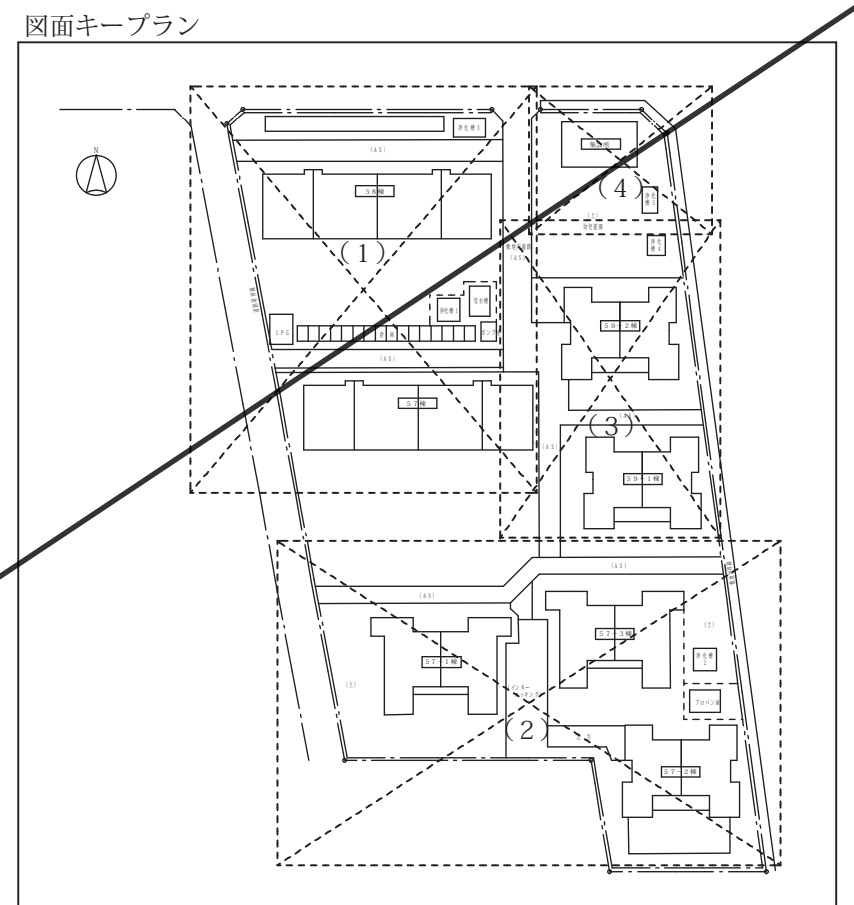
工事名称 県営住宅外江団地下水道接続工事
 図面名称 屋外配管平面図(1) (改修後)

図面番号 M-05
 No 21



凡例 (改修)

—	太線は新設を示す。
---	点線は既設を示す。(残置)
--- ---	既設配管との接続を示す。
---□---	既設管のキャップ止めを示す。
□	A S 舗装撤去復旧範囲を示す。(A-5-15)
□	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。(C-15-15)
□	インターロッキング取外し復旧範囲を示す。



※白線、駐車番号等は復旧すること。

樹リスト (57-1棟) 敷地境界線

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
1	塩ビ製小口径樹	100-150 90L	樹脂製標準蓋	300	+60	
2	"	" 90Y	"	320	+60	
3	"	" 90Y	"	360	+60	
4	"	" 90Y	"	380	+60	
5	"	" 90L	"	470	+60	
6	"	100-200 ST	"	570	+60	
7	"	" 90L	"	670	+60	
8	"	" WLS	"	750	+60	
15	"	100-150 90L	"	300	-20	
16	"	" 90Y	"	320	-20	
17	"	" 90Y	"	350	-20	
18	"	" 90Y	"	370	-20	
19	"	100-200 DR	"	入:490	+60	出:710

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

57-1棟、57-2棟、57-3棟に係る範囲は工事対象外とする。

樹リスト (57-3棟)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
20	塩ビ製小口径樹	100-150 90L	樹脂製標準蓋	300	±0	
21	"	" 90Y	"	330	±0	
22	"	" 90Y	"	360	±0	
23	"	" 90Y	"	380	±0	
24	"	100-200 DR	"	入:450	±0	出:760
9	"	" 90Y	"	770	±0	
10	"	" 90Y	"	870	±0	
11	"	" 90Y	"	960	±0	
12	"	" 90Y	"	1050	±0	
13	"	" WLS	"	1090	±0	
14	"	" 90L	"	1170	±0	
	既設公共樹	(150-300) マルチ	樹脂製標準蓋	(2100)	±0	管底深さは樹天端より
37	"	100-150 90Y	"	300	±0	
38	"	" 90Y	"	330	±0	
39	"	100-200 DR	"	入:350	±0	出:1080

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

樹リスト (57-2棟)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
25	塩ビ製小口径樹	100-150 90L	樹脂製標準蓋	300	±0	
26	"	" 90Y	"	320	±0	
27	"	" 90Y	"	370	±0	
28	"	100-200 DR	"	入:410	±0	出:860
29	"	100-150 90L	"	300	±0	
30	"	" 90L	"	300	±0	
31	"	" 90L	"	300	±0	
32	"	" 90Y	"	330	±0	
33	"	" 90Y	"	360	±0	
34	"	" 90L	"	400	±0	
35	"	" 90L	"	500	±0	
36	"	100-200 DR	"	入:520	±0	出:950

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。



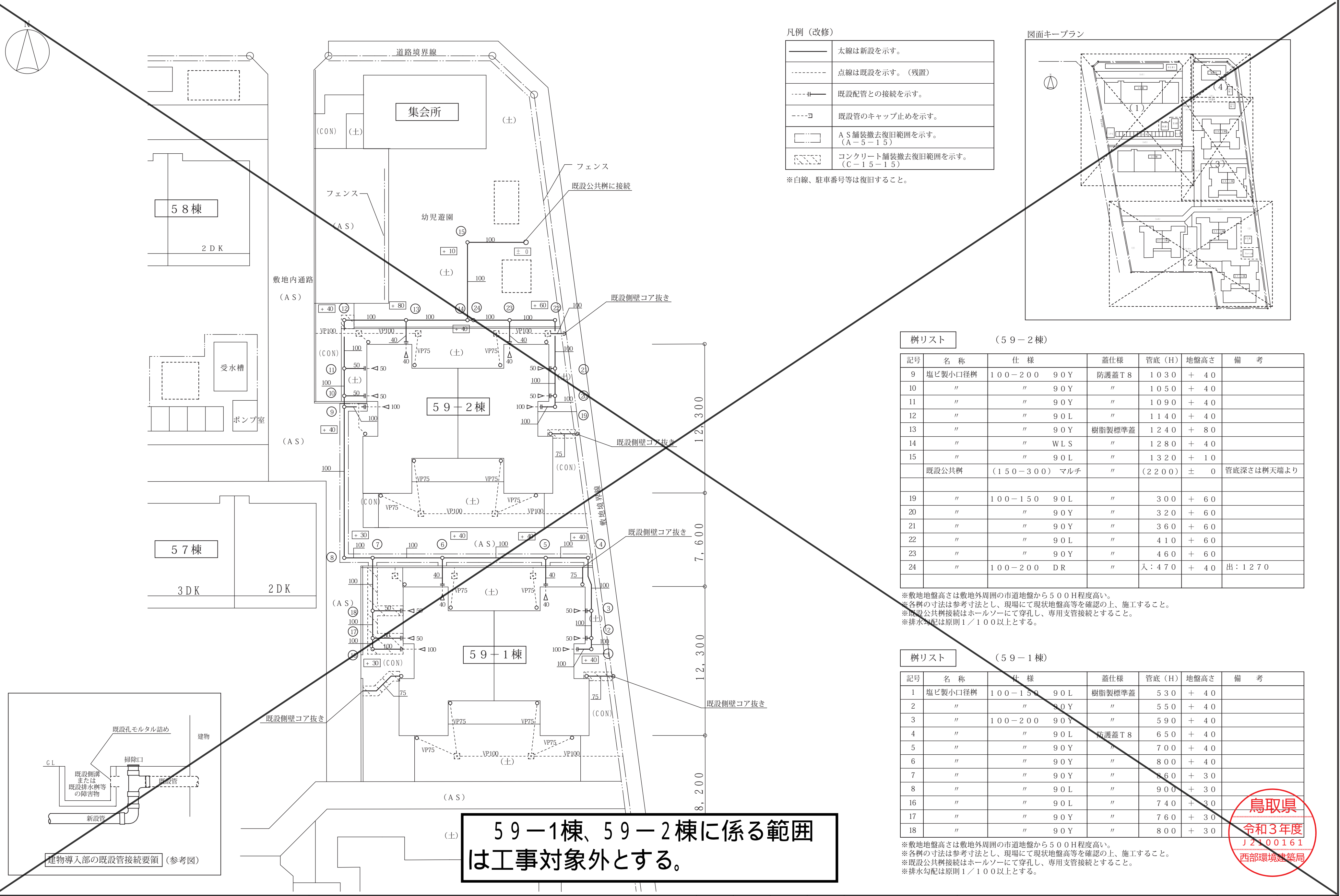
一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 296972 号
 建築設備士 田村 志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

承認 管理技術者 担当 作図
 田村 角田 米原 米原

縮尺 1/200
 設計年月日 2021.09

工事名称 県営住宅外団地下水道接続工事
 図面名称 屋外配管平面図(2) (改修後)

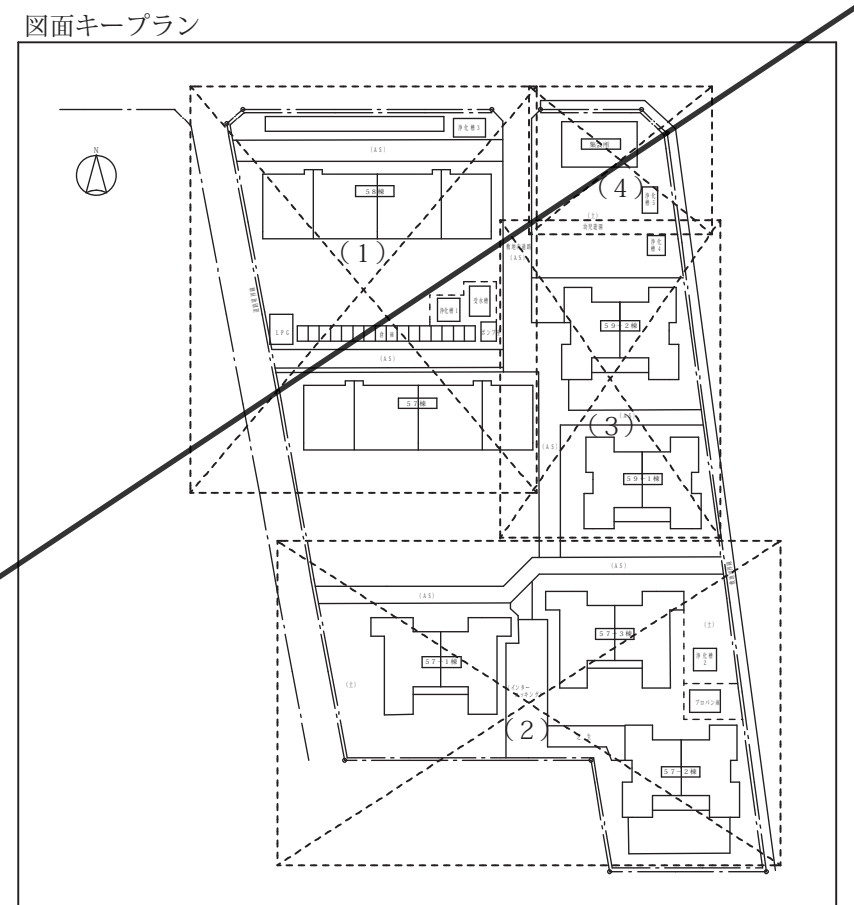
図面番号 M-06
 No 21



凡例 (改修)

——	太線は新設を示す。
---	点線は既設を示す。(残置)
---+---	既設配管との接続を示す。
---コ	既設管のキャップ止めを示す。
□	A S舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
■	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)

※白線、駐車番号等は復旧すること。



樹リスト (59-2棟)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
9	塩ビ製小口径樹	100-200 90Y	防護蓋T8	1030	+40	
10	"	" 90Y	"	1050	+40	
11	"	" 90Y	"	1090	+40	
12	"	" 90L	"	1140	+40	
13	"	" 90Y	樹脂製標準蓋	1240	+80	
14	"	" WLS	"	1280	+40	
15	"	" 90L	"	1320	+10	
	既設公共樹	(150-300) マルチ	"	(2200)	±0	管底深さは樹天端より
19	"	100-150 90L	"	300	+60	
20	"	" 90Y	"	320	+60	
21	"	" 90Y	"	360	+60	
22	"	" 90L	"	410	+60	
23	"	" 90Y	"	460	+60	
24	"	100-200 DR	"	入:470	+40	出:1270

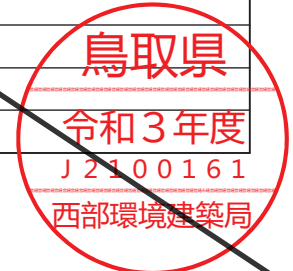
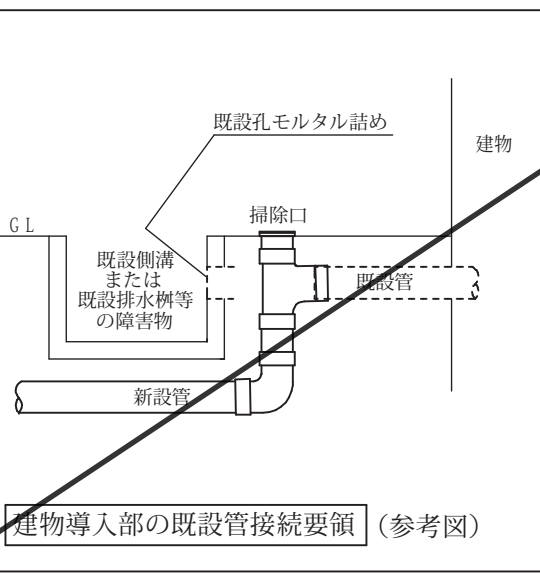
※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

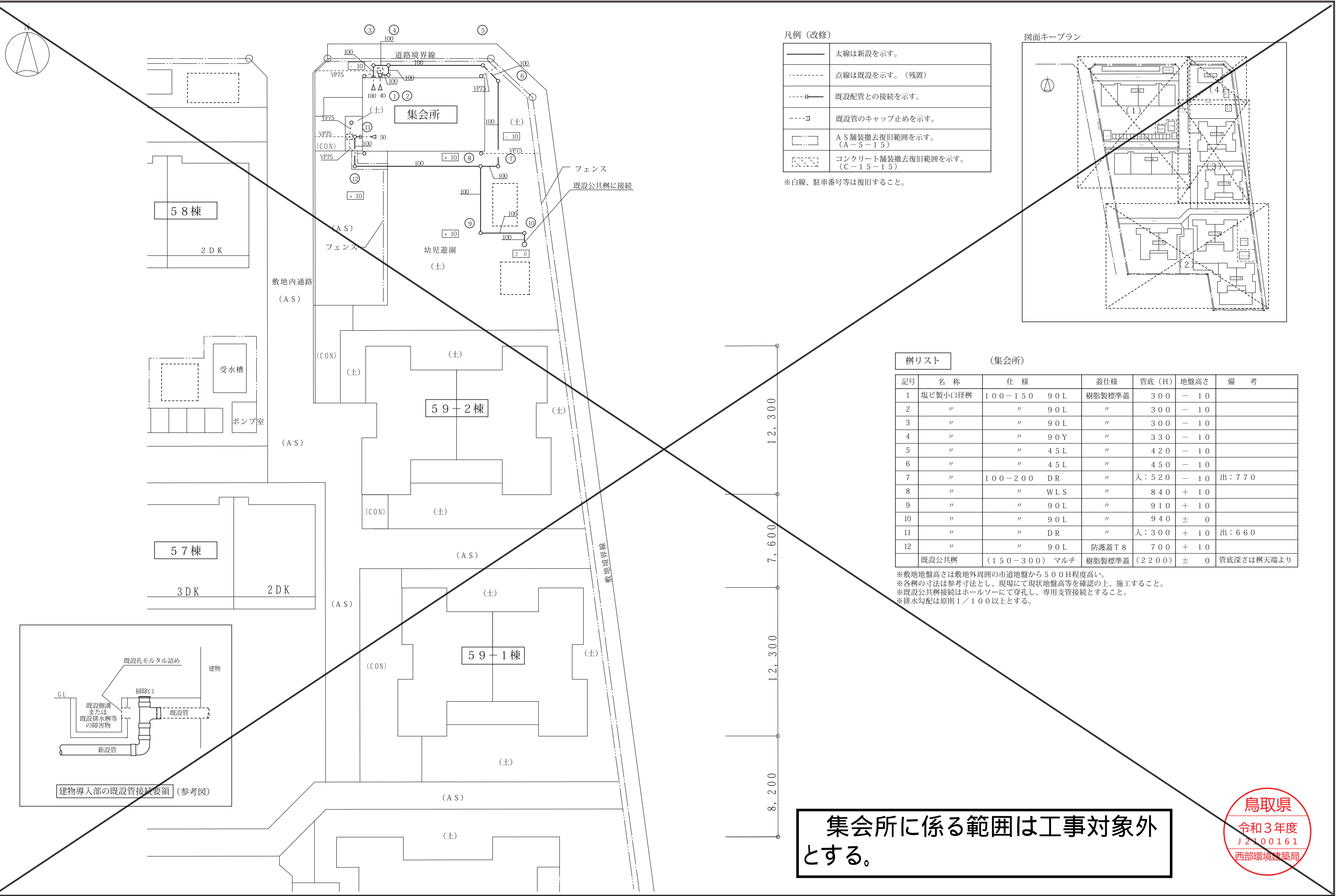
樹リスト (59-1棟)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
1	塩ビ製小口径樹	100-150 90L	樹脂製標準蓋	530	+40	
2	"	" 90Y	"	550	+40	
3	"	100-200 90Y	"	590	+40	
4	"	" 90L	防護蓋T8	650	+40	
5	"	" 90Y	"	700	+40	
6	"	" 90Y	"	800	+40	
7	"	" 90Y	"	860	+30	
8	"	" 90L	"	900	+30	
16	"	" 90L	"	740	+30	
17	"	" 90Y	"	760	+30	
18	"	" 90Y	"	800	+30	

※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

**59-1棟、59-2棟に係る範囲
は工事対象外とする。**

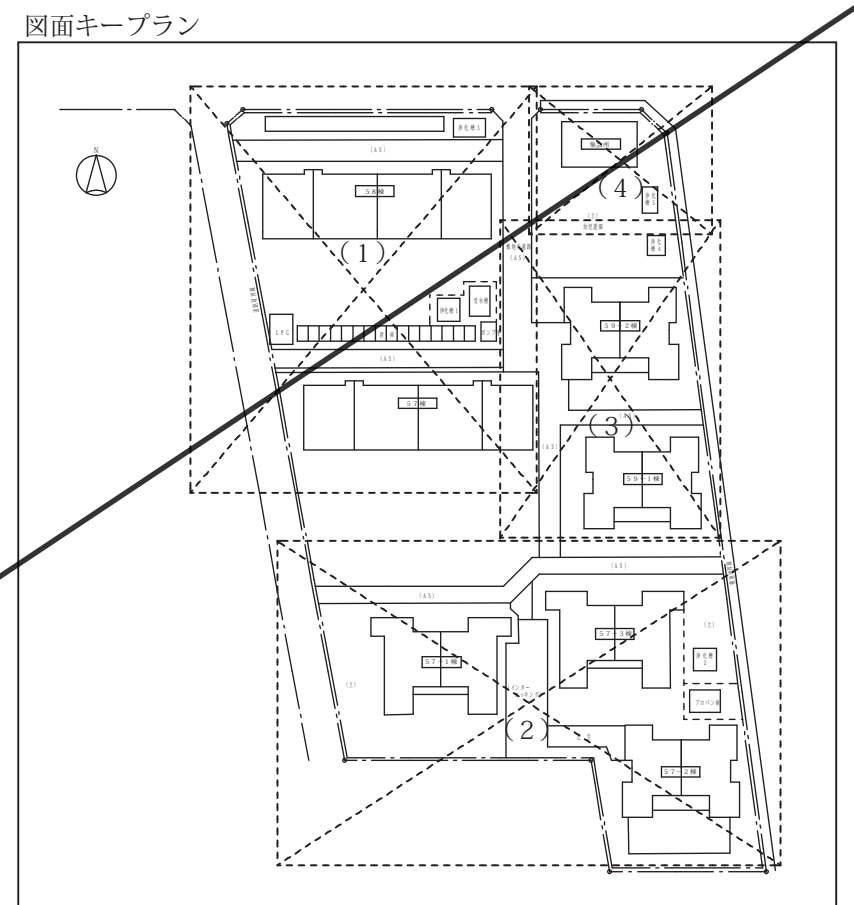




凡例 (改修)

—	太線は新設を示す。
---	点線は既設を示す。(残置)
---+---	既設配管との接続を示す。
---コ---	既設管のキャップ止めを示す。
□	A S舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
■	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)

※白線、駐車番号等は復旧すること。

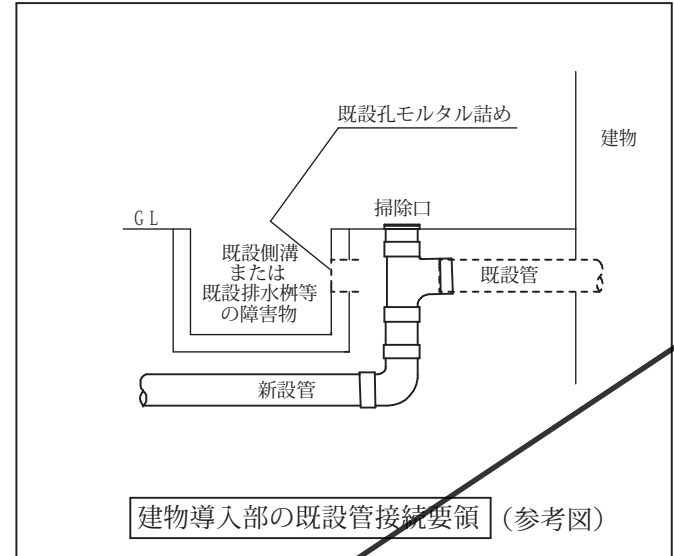


樹リスト (集会所)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
1	塩ビ製小口径樹	100-150 90L	樹脂製標準蓋	300	-10	
2	"	" 90L	"	300	-10	
3	"	" 90L	"	300	-10	
4	"	" 90Y	"	330	-10	
5	"	" 45L	"	420	-10	
6	"	" 45L	"	450	-10	
7	"	100-200 DR	"	入:520	-10	出:770
8	"	" WLS	"	840	+10	
9	"	" 90L	"	910	+10	
10	"	" 90L	"	940	±0	
11	"	" DR	"	入:300	+10	出:660
12	"	" 90L	防護蓋T8	700	+10	
	既設公共樹	(150-300) マルチ	樹脂製標準蓋	(2200)	±0	管底深さは樹天端より

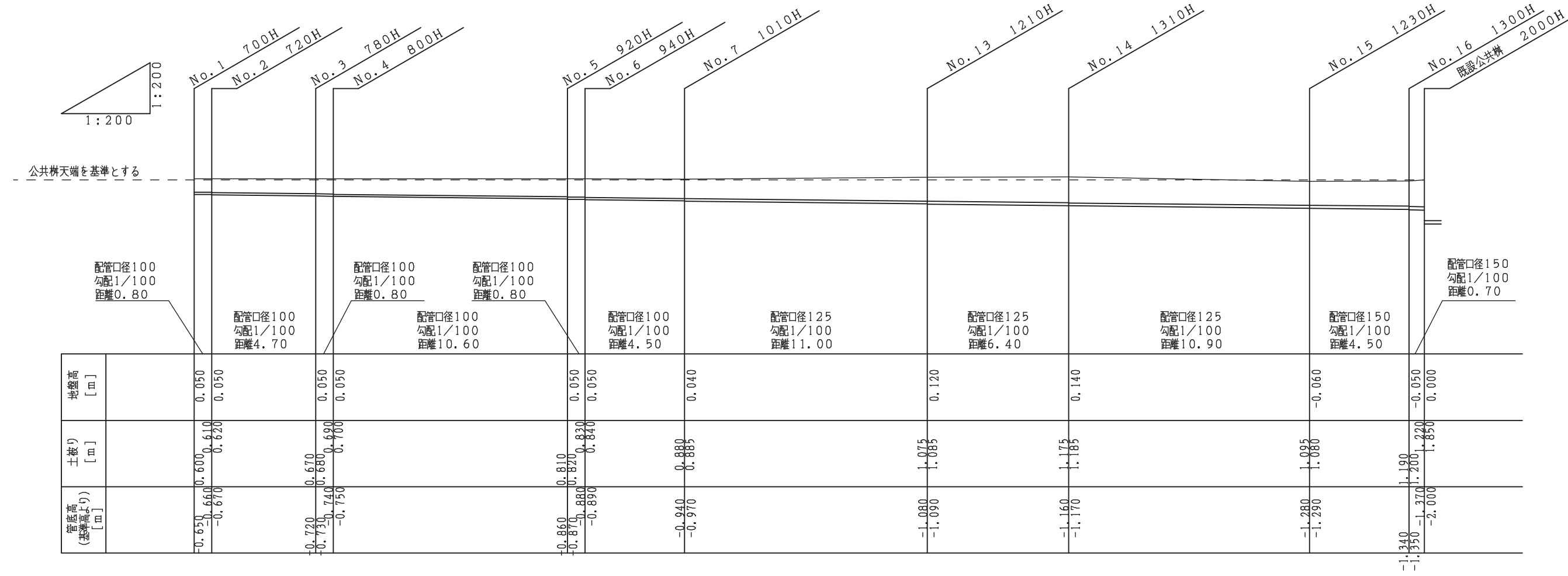
※敷地地盤高さは敷地外周囲の市道地盤から500H程度高い。
 ※各樹の寸法は参考寸法とし、現場にて現状地盤高等を確認の上、施工すること。
 ※既設公共樹接続はホールソーにて穿孔し、専用支管接続とすること。
 ※排水勾配は原則1/100以上とする。

集会所に係る範囲は工事対象外とする。

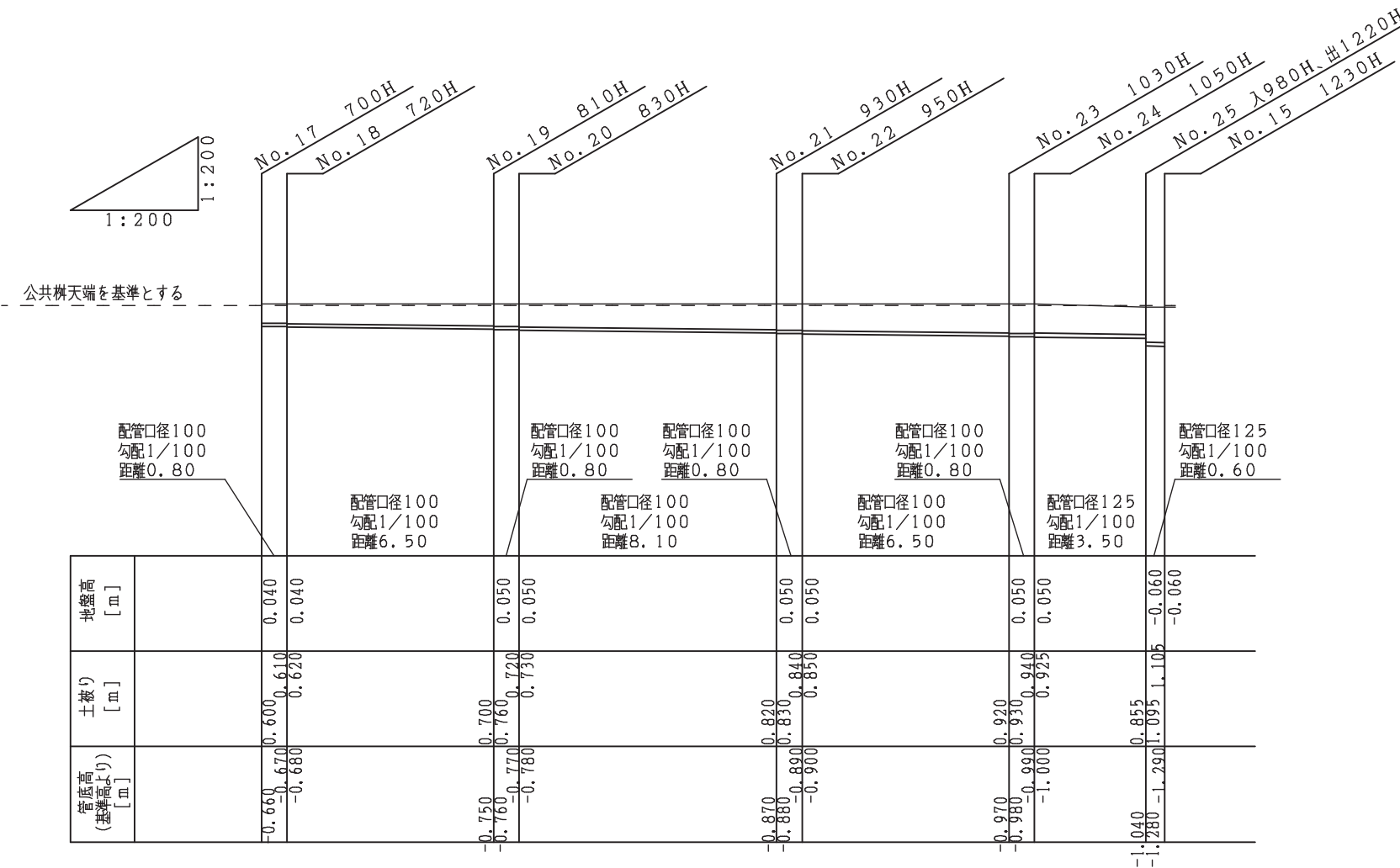


一級建築士事務所/建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 296972 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

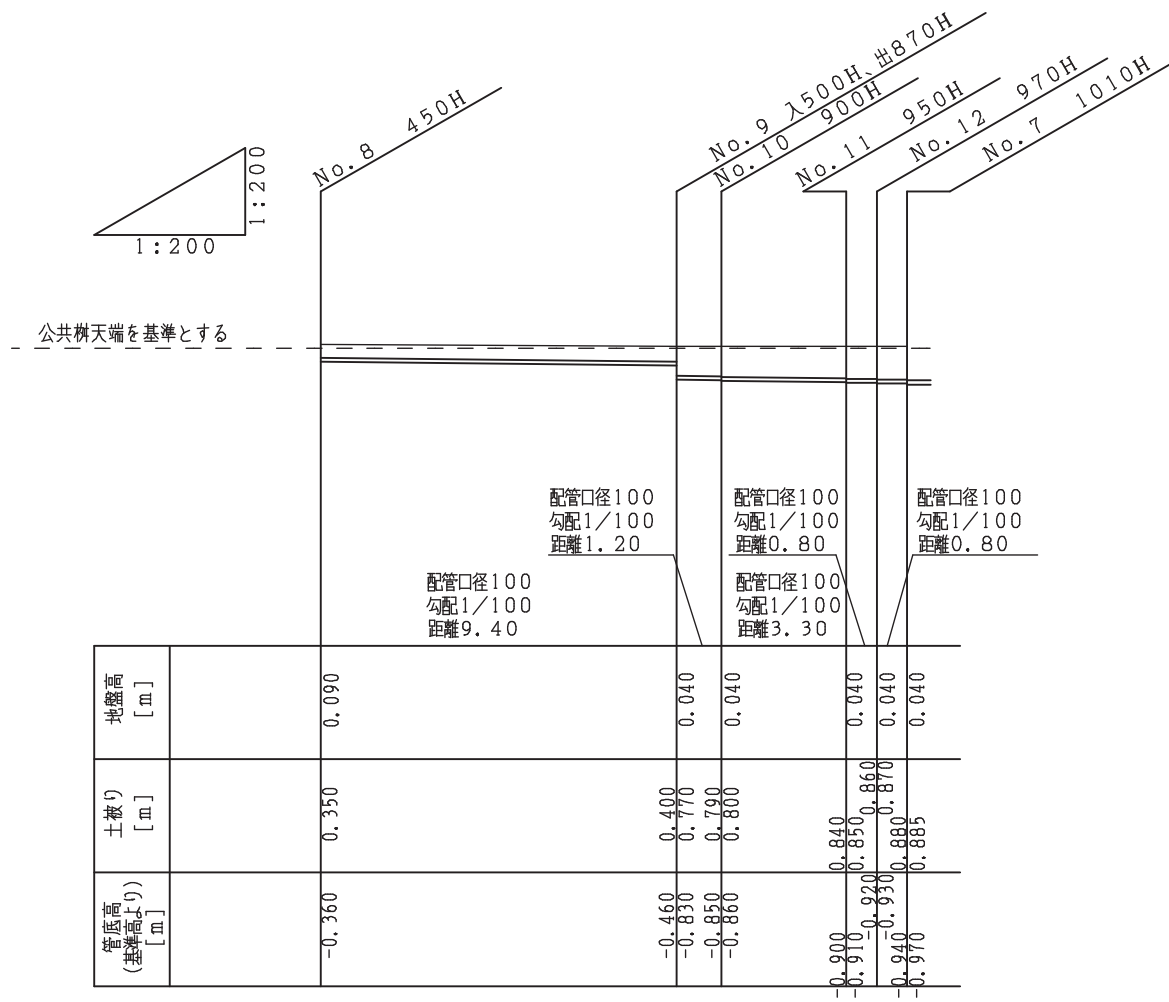
承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/200	工事名称	県営住宅外江団地下水道接続工事	図面番号	M-08
田村	角田	米原	米原	設計年月日	2021.09	図面名称	屋外配管平面図(4) (改修後)	No	21



縦断面図1 (57, 58棟系統) S=1:200

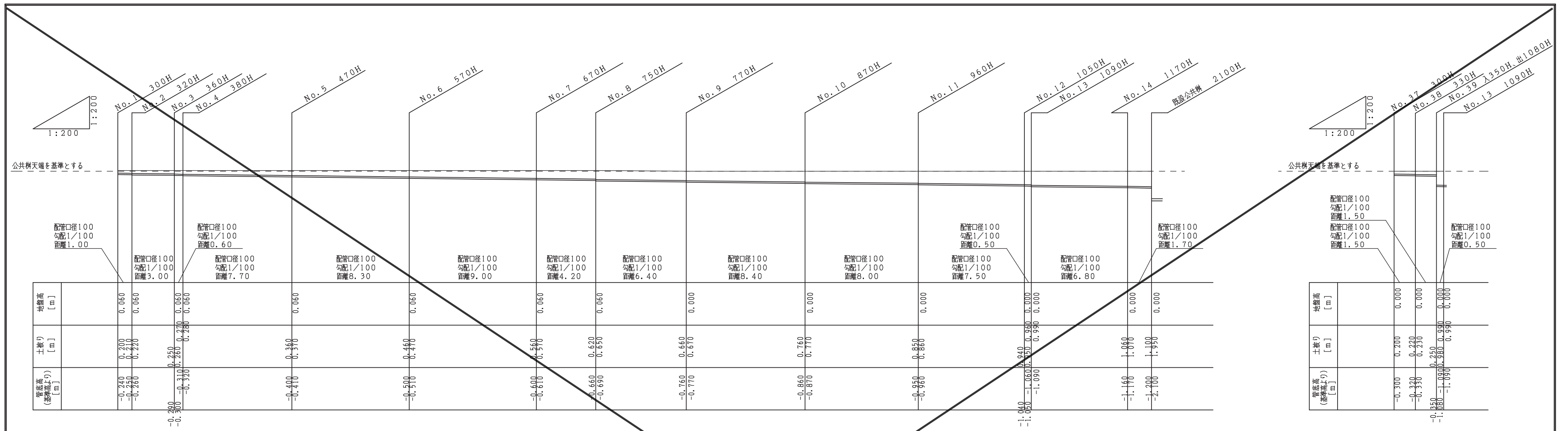


縦断面図2 (57, 58棟系統) S=1:200



縦断面図3 (57, 58棟系統) S=1:200

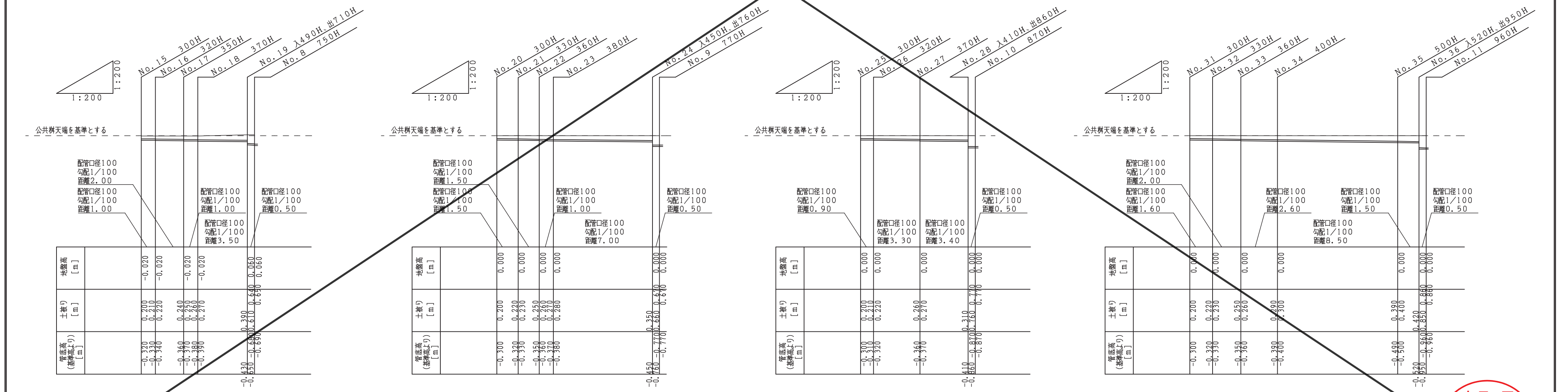




57-1棟、57-2棟、57-3棟
に係る範囲は工事対象外とする。

縦断面図1 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200

縦断面図6 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200



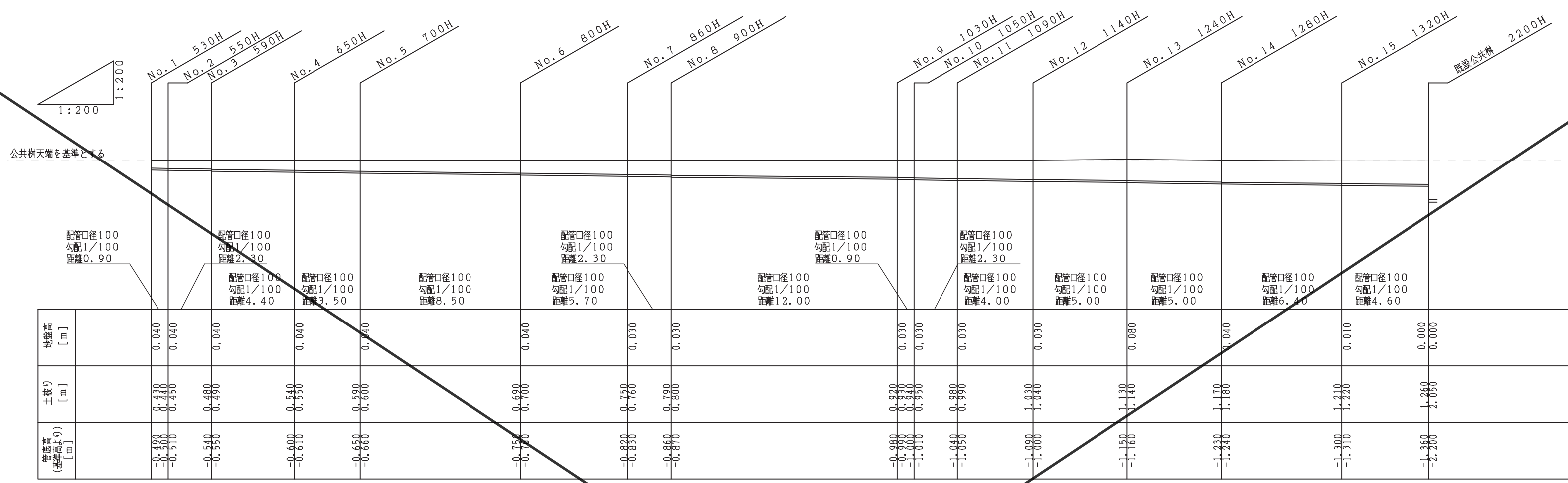
縦断面図2 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200

縦断面図3 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200

縦断面図4 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200

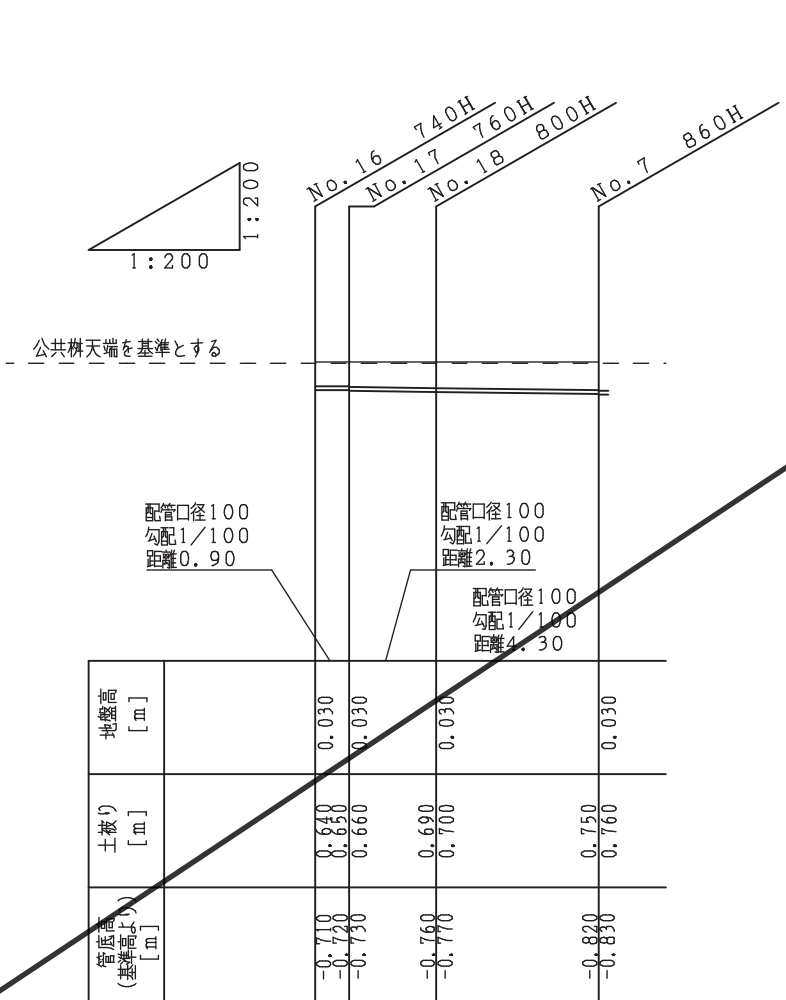
縦断面図5 (57-1, 2, 3棟系統) S=1:200



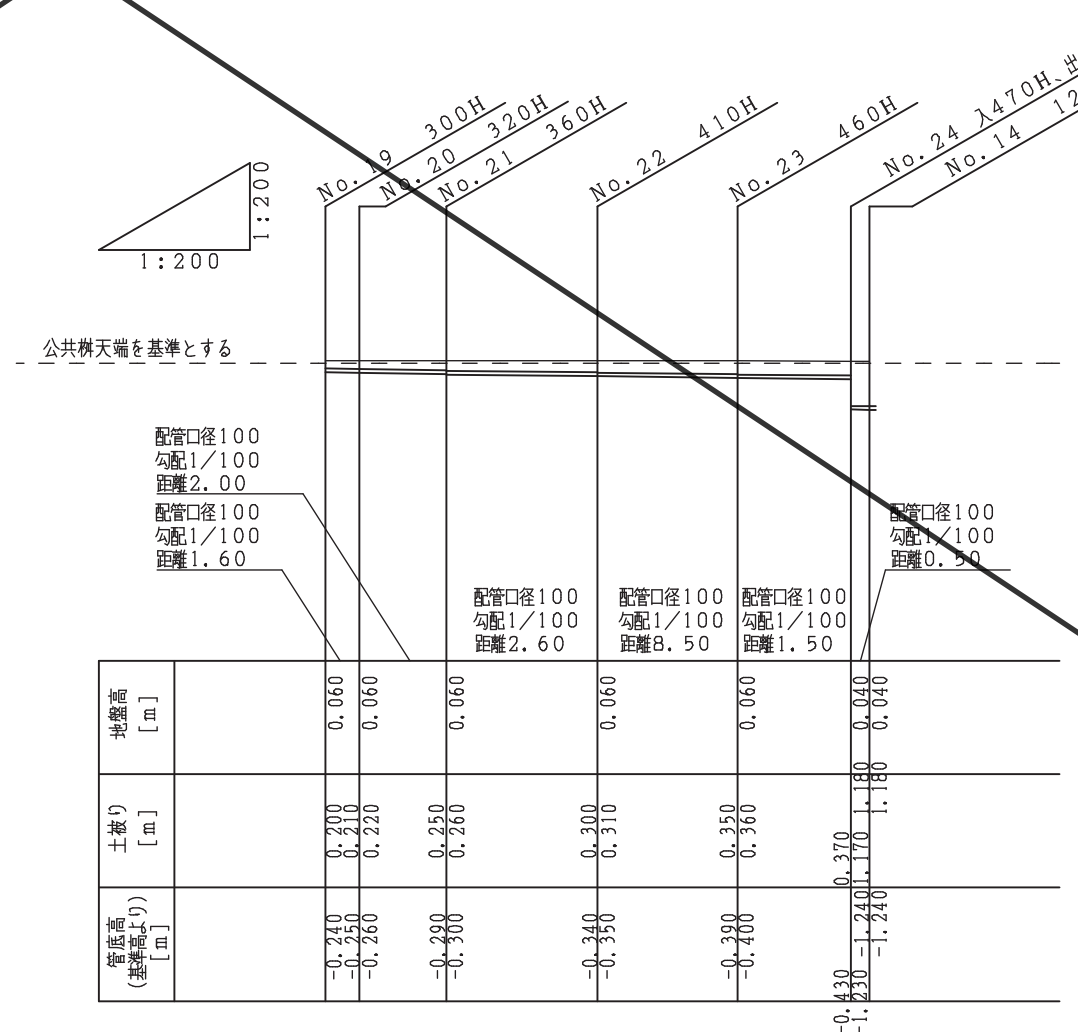


59-1棟、59-2棟に係る範囲
は工事対象外とする。

縦断面図1 (59-1, 2棟系統) S=1:200

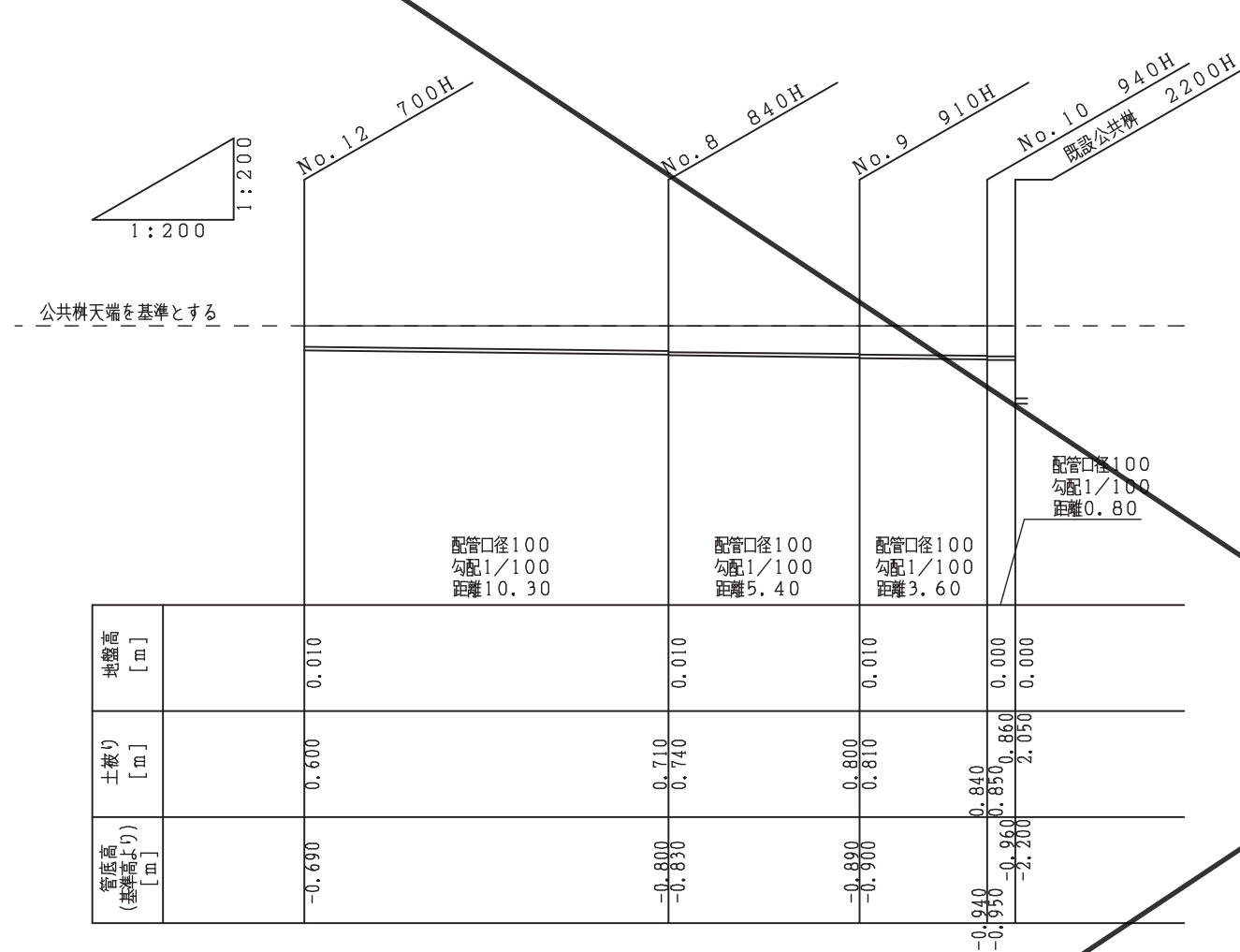


縦断面図2 (59-1, 2棟系統) S=1:200

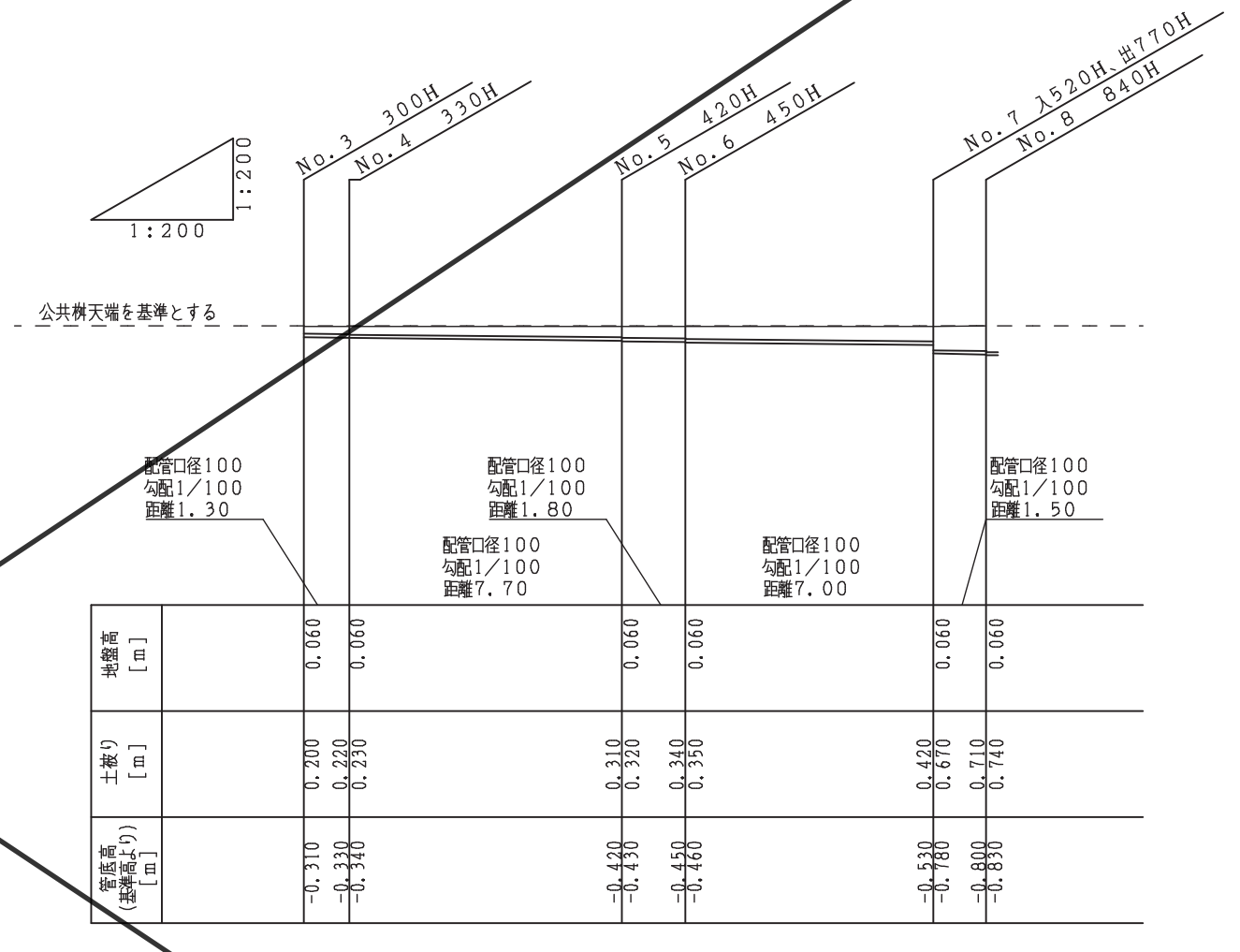


縦断面図3 (59-1, 2棟系統) S=1:200





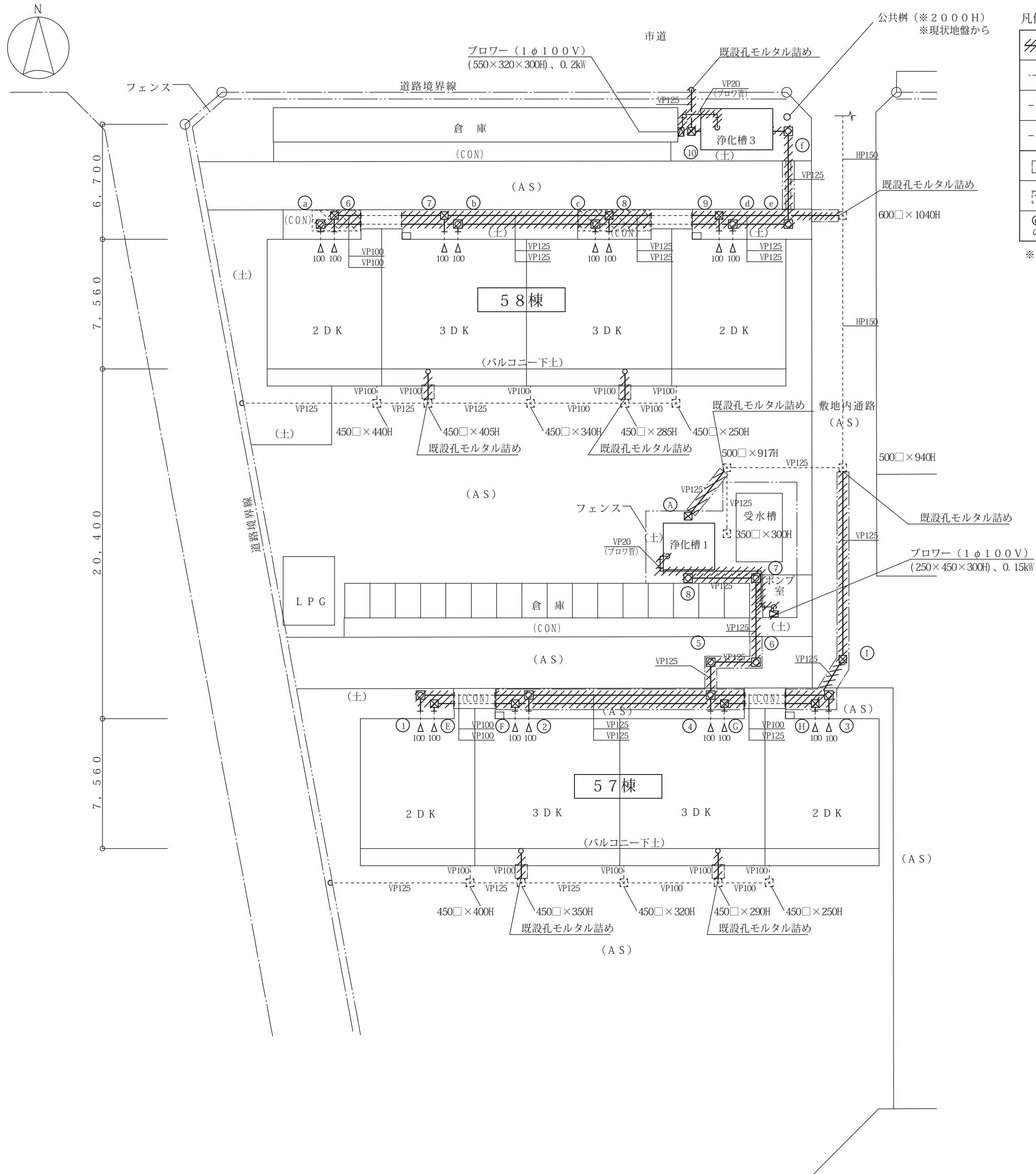
縦断面図1 (集会所系統) S=1:200



縦断面図2 (集会所系統) S=1:200

集会所に係る範囲は工事対象外とする。

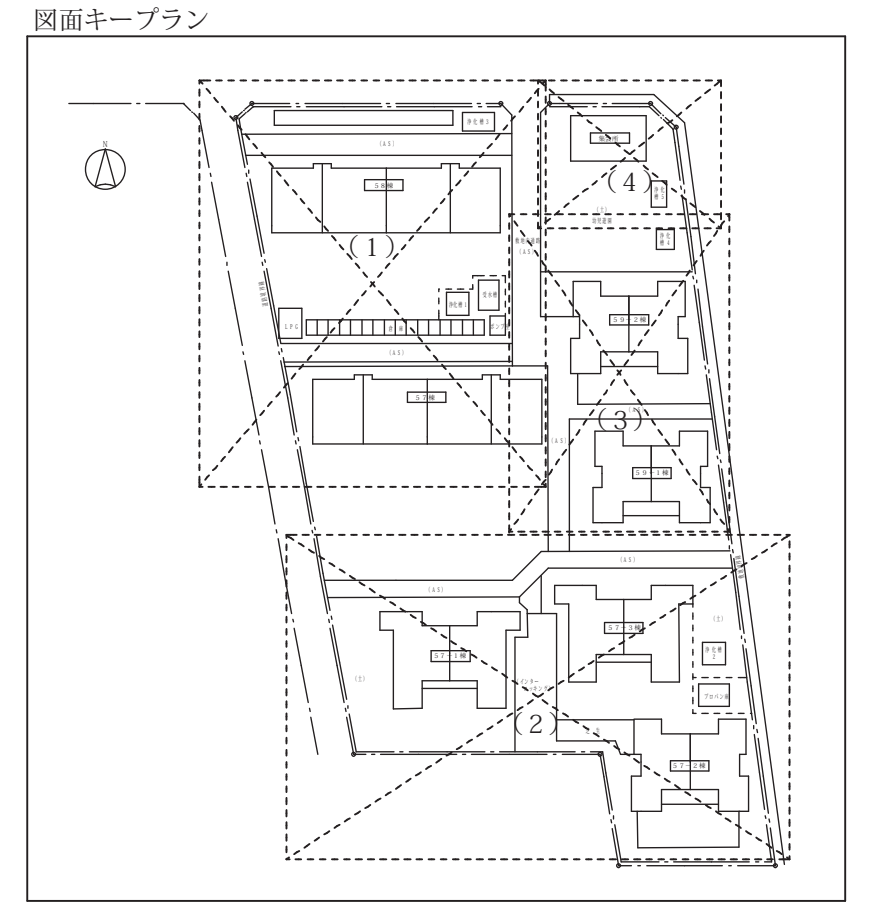




凡例 (撤去)

	太線は撤去を示す。
	点線は既設を示す。(残置)
	配管の切断を示す。
	既設管のキャップ止めを示す。
	A S 舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)
	保護コンクリート巻き部を示す。(※)

※コンクリート部(350□×3.0m、主筋D13×6本×3.0m、
フープ筋D10×11個×1.0m)のみ撤去とし下部碎石は残置とする。



柵リスト (撤去) (58棟)

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底(H)	備考
6	排水柵	コンクリート製	450×450	MHB 450φ	440	既製柵
7	"	"	"	"	510	"
8	"	"	500×500	MHB 500φ	615	"
9	"	"	"	"	685	"
10	"	"	600×600	MHB 600φ	810	"
a	汚水インバート柵	"	450×450	MHB 450φ	300	現場打
b	"	"	"	"	390	"
c	"	"	"	"	480	"
d	"	"	500×500	MHB 500φ	570	"
e	"	"	"	"	610	"
f	"	"	600×600	MHB 600φ	680	"

柵リスト (撤去) (57棟)

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底(H)	備考
A	排水柵	コンクリート製	500×500	MHB 500φ	880	現場打
E	"	"	450×450	MHB 450φ	368	"
F	"	"	"	"	427	"
G	"	"	"	"	535	"
H	"	"	"	"	621	"
I	"	"	"	MHA 450φ	653	"
1	汚水インバート柵	"	450×450	MHB 450φ	350	現場打
2	"	"	"	"	455	"
3	"	"	"	"	460	"
4	"	"	"	"	564	"
5	"	"	"	MHA 450φ	590	"
6	"	"	"	"	639	"
7	"	"	"	"	697	"
8	"	"	500×500	MHB 500φ	730	"

鳥取県
令和3年度
J2100161
西部環境建築局

一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所

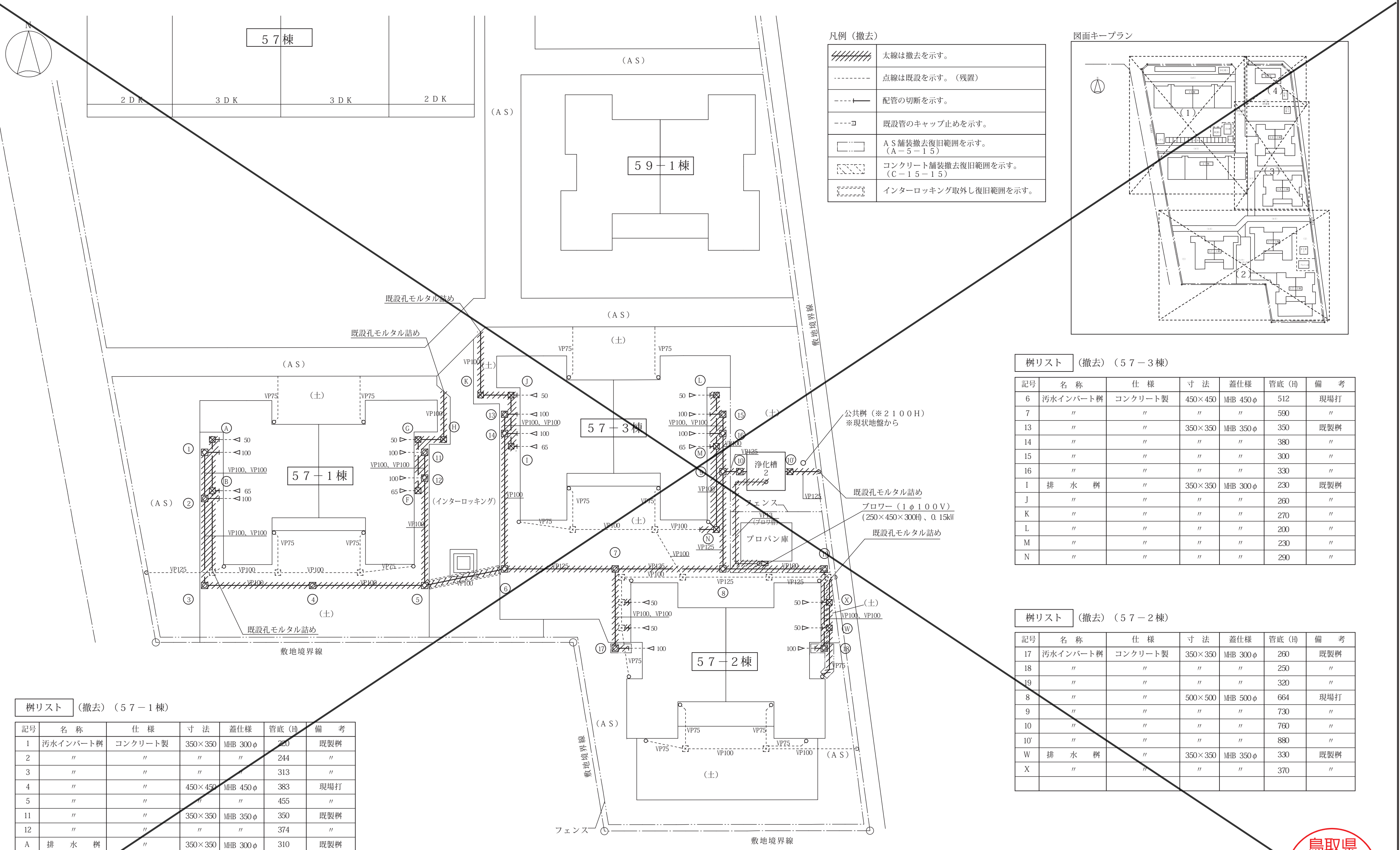
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 299972 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

承認 管理技術者 担当 作図

縮尺 1/200
 設計年月日 2021.09

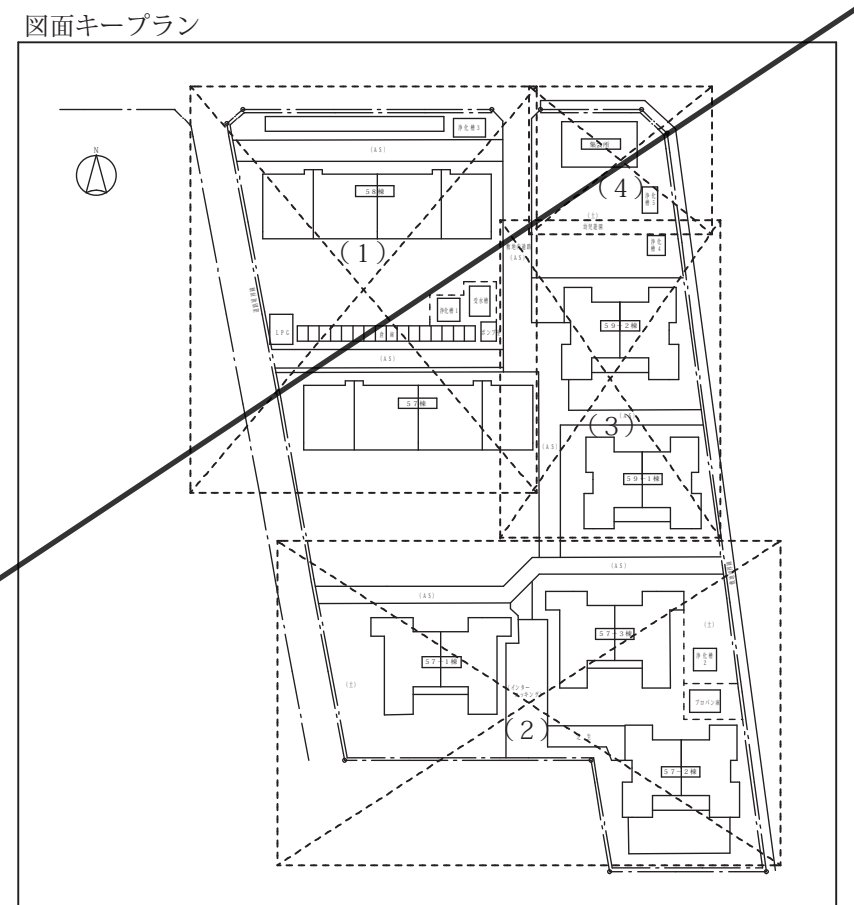
工事名称 県営住宅外江団地下水道接続工事
 図面名称 屋外配管平面図(1) (既設・撤去)

図面番号 M-13
 No. 21



凡例 (撤去)

	太線は撤去を示す。
	点線は既設を示す。(残置)
	配管の切断を示す。
	既設管のキャップ止めを示す。
	A S舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)
	インターロッキング取外し復旧範囲を示す。



樹リスト (撤去) (57-1棟)

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底 (H)	備考
1	汚水インバート樹	コンクリート製	350×350	MHB 300φ	220	既製樹
2	"	"	"	"	244	"
3	"	"	"	"	313	"
4	"	"	450×450	MHB 450φ	383	現場打
5	"	"	"	"	455	"
11	"	"	350×350	MHB 350φ	350	既製樹
12	"	"	"	"	374	"
A	排水樹	"	350×350	MHB 300φ	310	既製樹
B	"	"	"	"	350	"
F	"	"	"	"	230	"
G	"	"	"	"	260	"
H	"	"	"	"	270	"

樹リスト (撤去) (57-3棟)

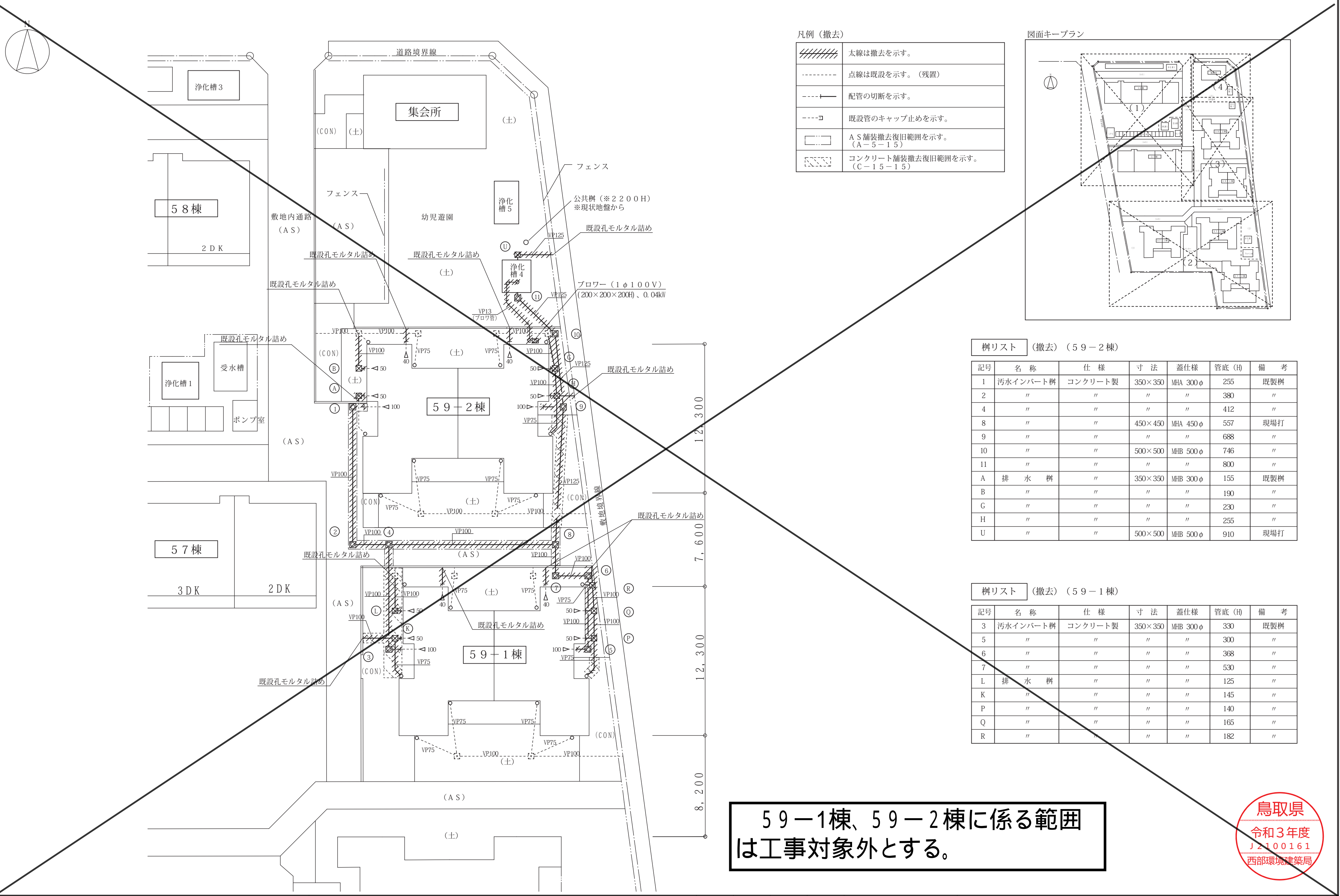
記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底 (H)	備考
6	汚水インバート樹	コンクリート製	450×450	MHB 450φ	512	現場打
7	"	"	"	"	590	"
13	"	"	350×350	MHB 350φ	350	既製樹
14	"	"	"	"	380	"
15	"	"	"	"	300	"
16	"	"	"	"	330	"
I	排水樹	"	350×350	MHB 300φ	230	既製樹
J	"	"	"	"	260	"
K	"	"	"	"	270	"
L	"	"	"	"	200	"
M	"	"	"	"	230	"
N	"	"	"	"	290	"

樹リスト (撤去) (57-2棟)

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底 (H)	備考
17	汚水インバート樹	コンクリート製	350×350	MHB 300φ	260	既製樹
18	"	"	"	"	250	"
19	"	"	"	"	320	"
8	"	"	500×500	MHB 500φ	664	現場打
9	"	"	"	"	730	"
10	"	"	"	"	760	"
10'	"	"	"	"	880	"
W	排水樹	"	350×350	MHB 350φ	330	既製樹
X	"	"	"	"	370	"

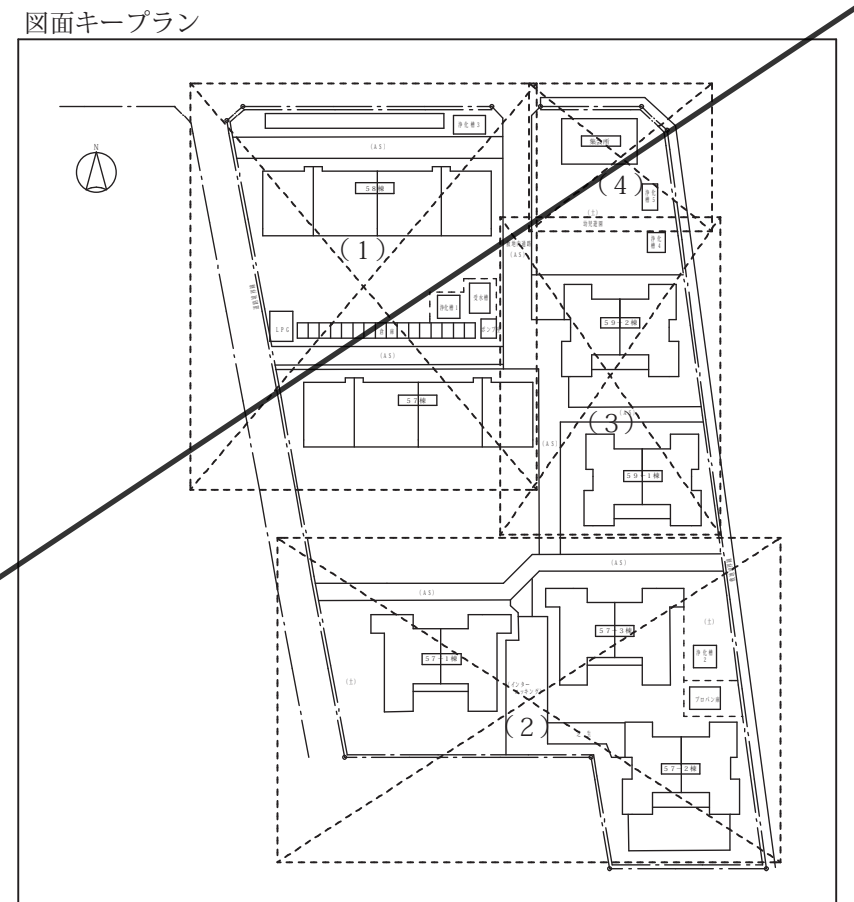
57-1棟、57-2棟、57-3棟
に係る範囲は工事対象外とする。





凡例（撤去）

	太線は撤去を示す。
	点線は既設を示す。（残置）
	配管の切断を示す。
	既設管のキャップ止めを示す。
	A S 舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)



柵リスト（撤去）（59-2棟）

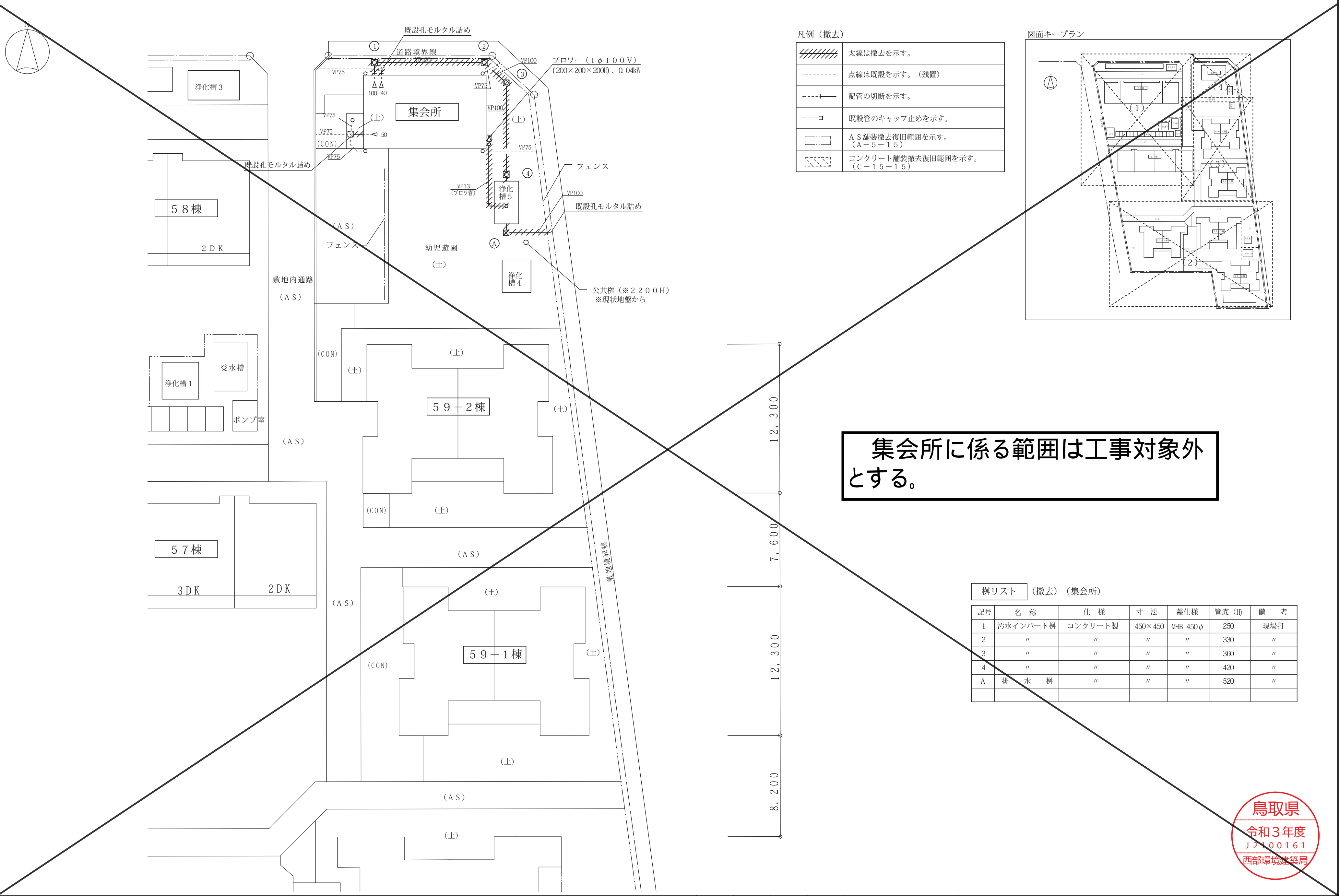
記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底(H)	備考
1	汚水インバート柵	コンクリート製	350×350	MHA 300φ	255	既製柵
2	"	"	"	"	380	"
4	"	"	"	"	412	"
8	"	"	450×450	MHA 450φ	557	現場打
9	"	"	"	"	688	"
10	"	"	500×500	MHB 500φ	746	"
11	"	"	"	"	800	"
A	排水柵	"	350×350	MHB 300φ	155	既製柵
B	"	"	"	"	190	"
G	"	"	"	"	230	"
H	"	"	"	"	255	"
U	"	"	500×500	MHB 500φ	910	現場打

柵リスト（撤去）（59-1棟）

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底(H)	備考
3	汚水インバート柵	コンクリート製	350×350	MHB 300φ	330	既製柵
5	"	"	"	"	300	"
6	"	"	"	"	368	"
7	"	"	"	"	530	"
L	排水柵	"	"	"	125	"
K	"	"	"	"	145	"
P	"	"	"	"	140	"
Q	"	"	"	"	165	"
R	"	"	"	"	182	"

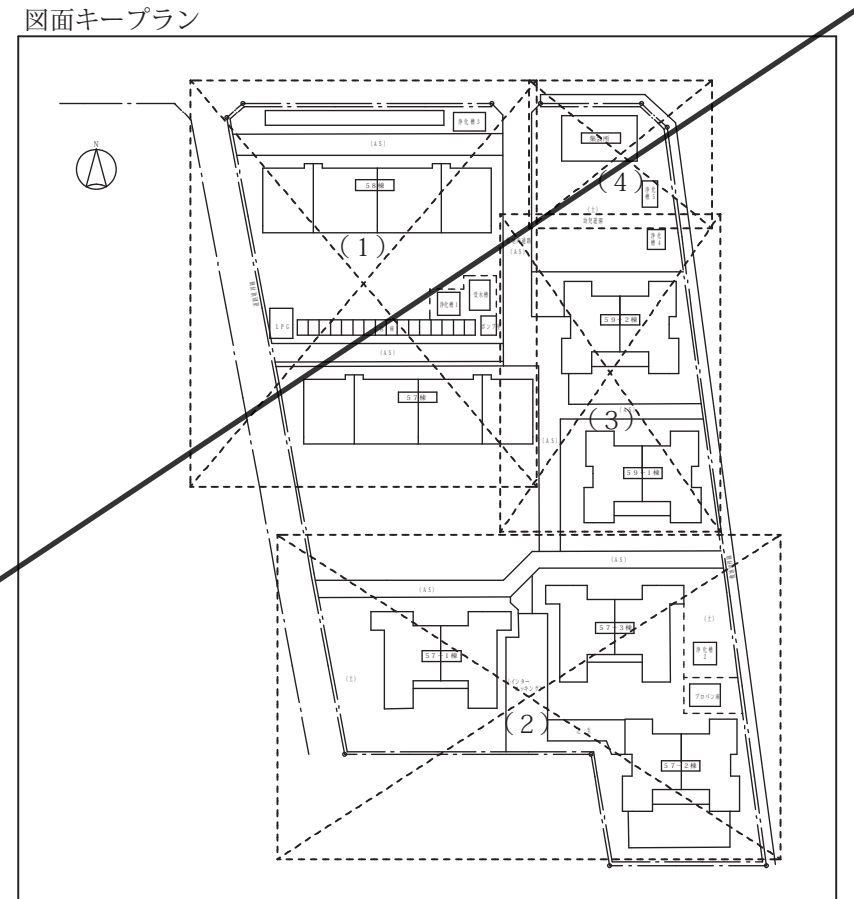
**59-1棟、59-2棟に係る範囲
は工事対象外とする。**





凡例（撤去）

	太線は撤去を示す。
	点線は既設を示す。（残置）
	配管の切断を示す。
	既設管のキャップ止めを示す。
	A S 舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)



集会所に係る範囲は工事対象外とする。

樹リスト（撤去）（集会所）

記号	名称	仕様	寸法	蓋仕様	管底 (H)	備考
1	汚水インバート樹	コンクリート製	450×450	MFB 450φ	250	現場打
2	"	"	"	"	330	"
3	"	"	"	"	360	"
4	"	"	"	"	420	"
A	排水樹	"	"	"	520	"



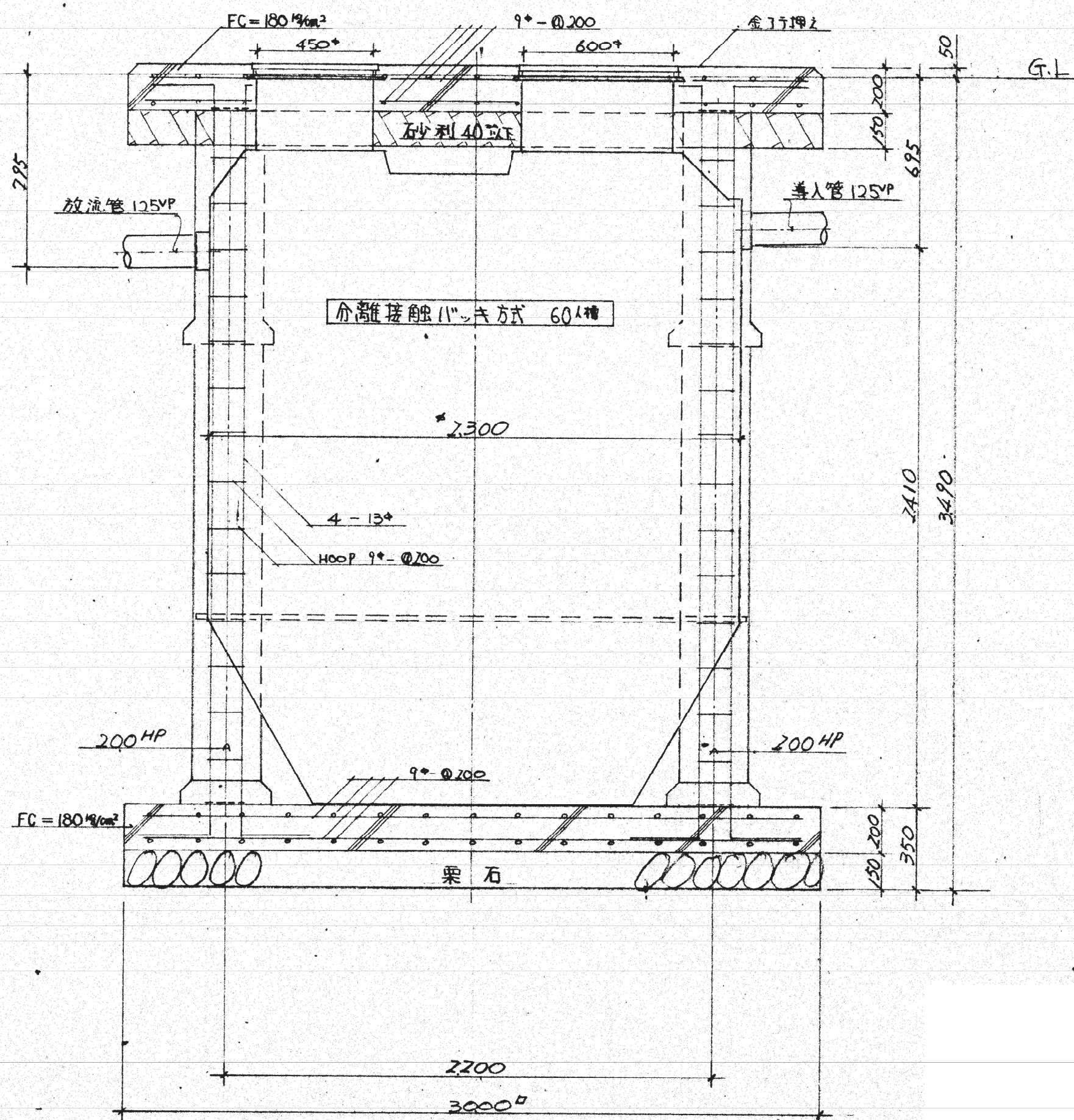
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
 管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 296972 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-700INT 号

承認 管理技術者 担当 作図

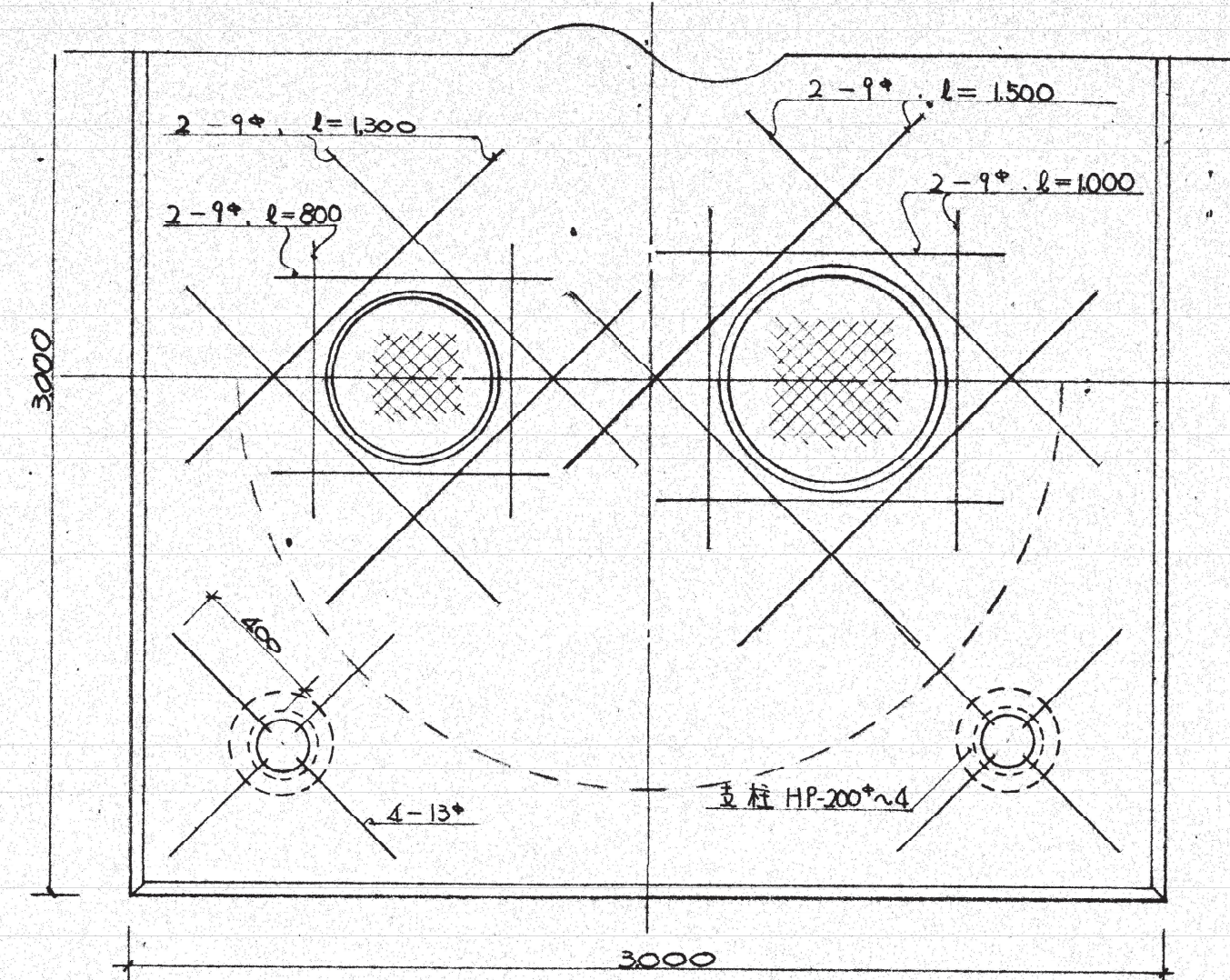
縮尺 1/200
 設計年月日 2021.09

工事名称 県営住宅外江団地下水道接続工事
 図面名称 屋外配管平面図（４）（既設・撤去）

図面番号 M-16 / 21
 No



浄化槽 断面図 S=1/20



浄化槽 スラブ補強図 S=1/20

特記

- ・GL-500mmまでの全て撤去・購入土にて埋戻し
- ・水抜き用に穴抜き
- ・内部の汚泥抜き取り及び清掃作業（別途工事）
- ・内部機材は撤去

鳥取県
令和3年度
J2100161
西部環境建築局

一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

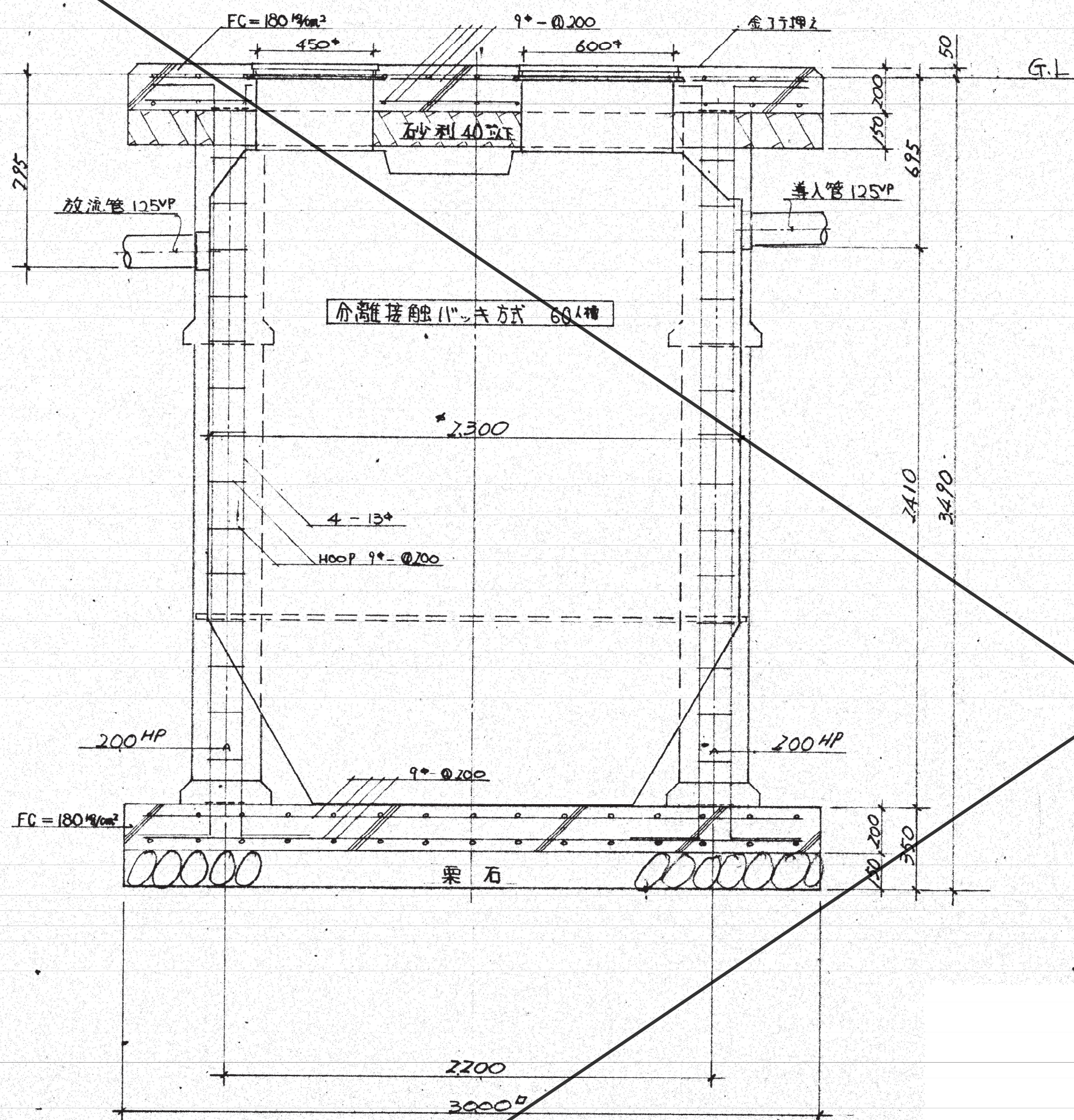
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 28-1014 号
管理建築士 津田 進 一級建築士登録 第 299972 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	米原	米原

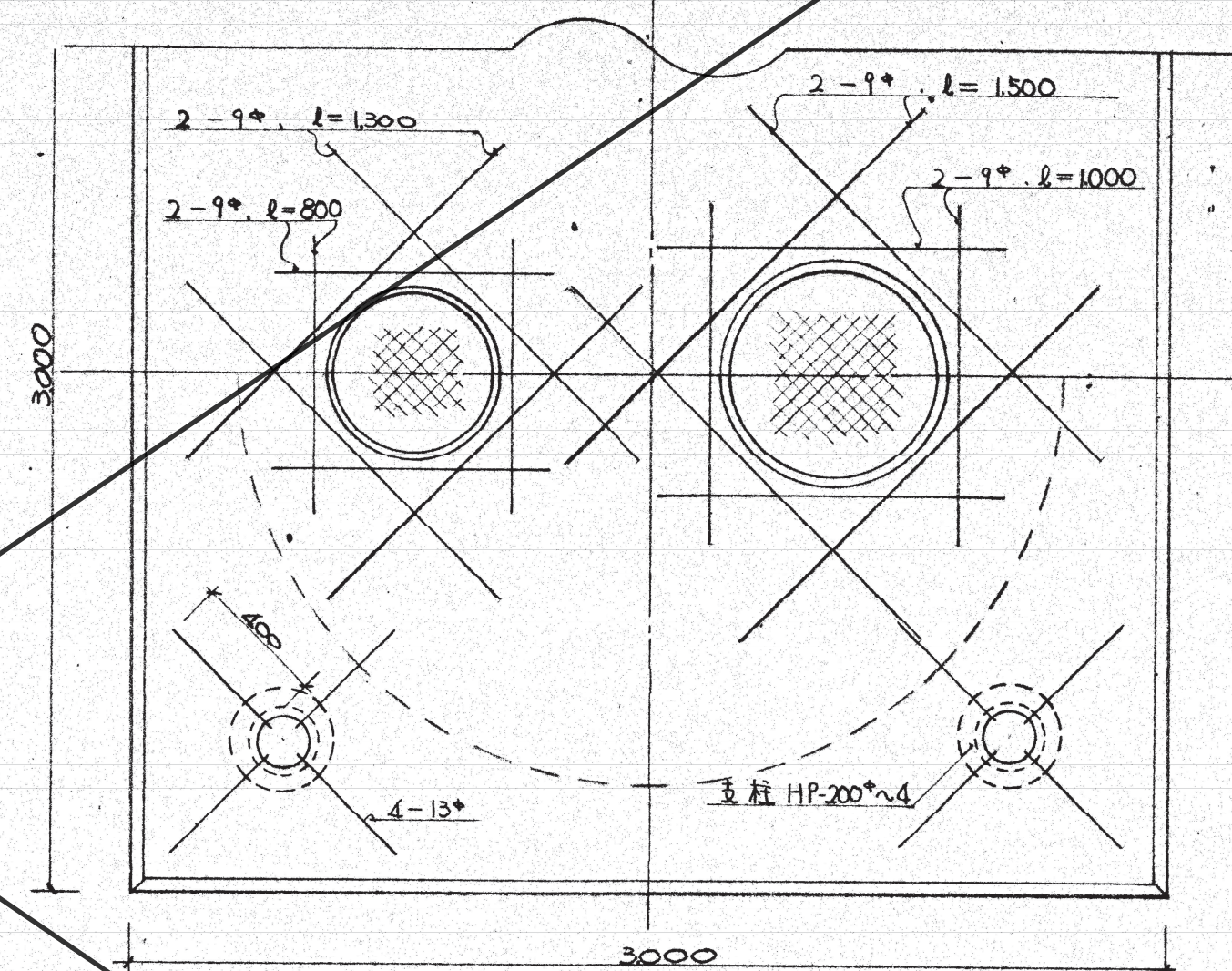
縮尺 1/20
設計年月日 2021.09

工事名称 県営住宅外江団地下水道接続工事
図面名称 57棟用浄化槽1 撤去詳細図

図面番号 M-17
No. 21



浄化槽 断面図 S=1/20



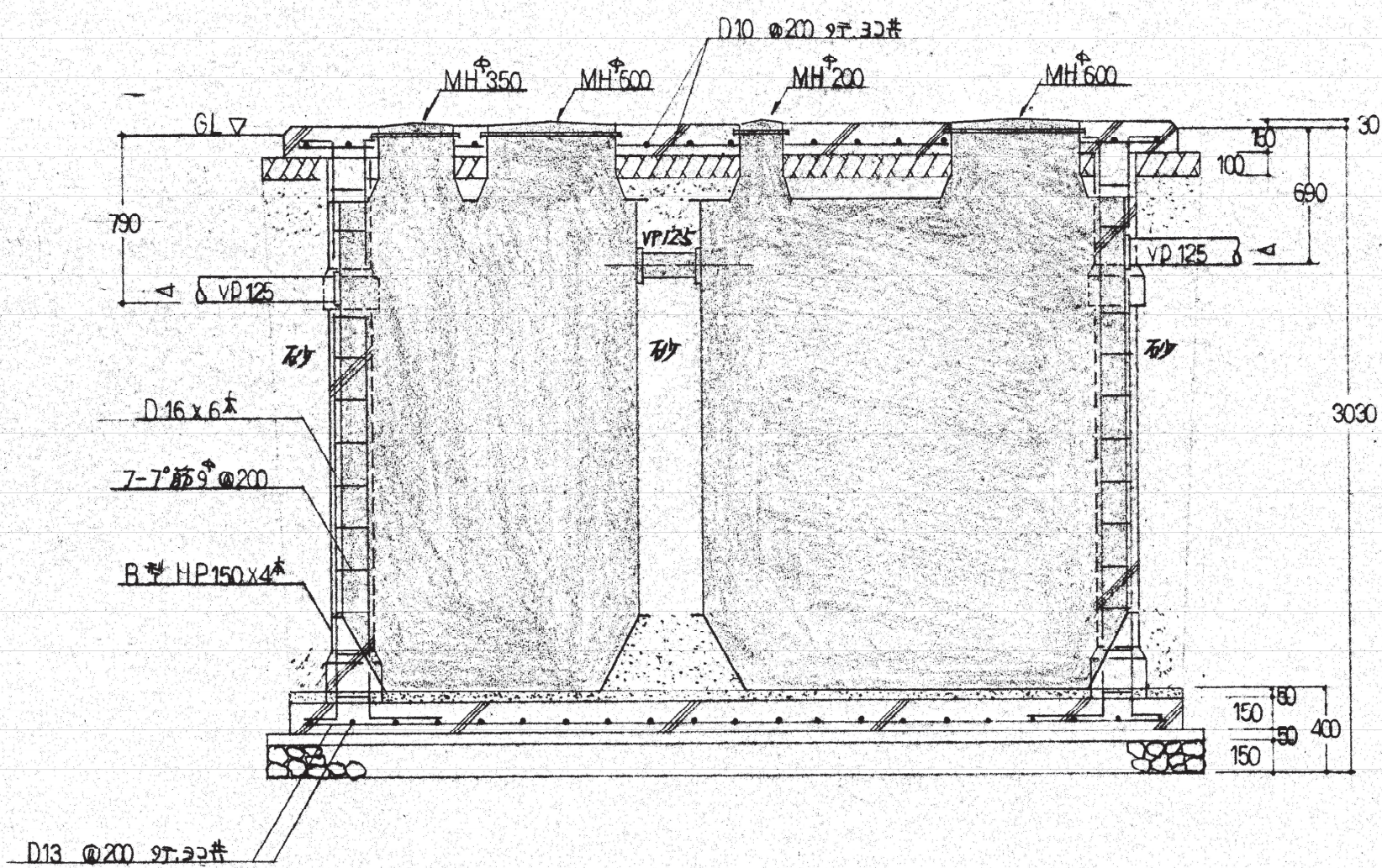
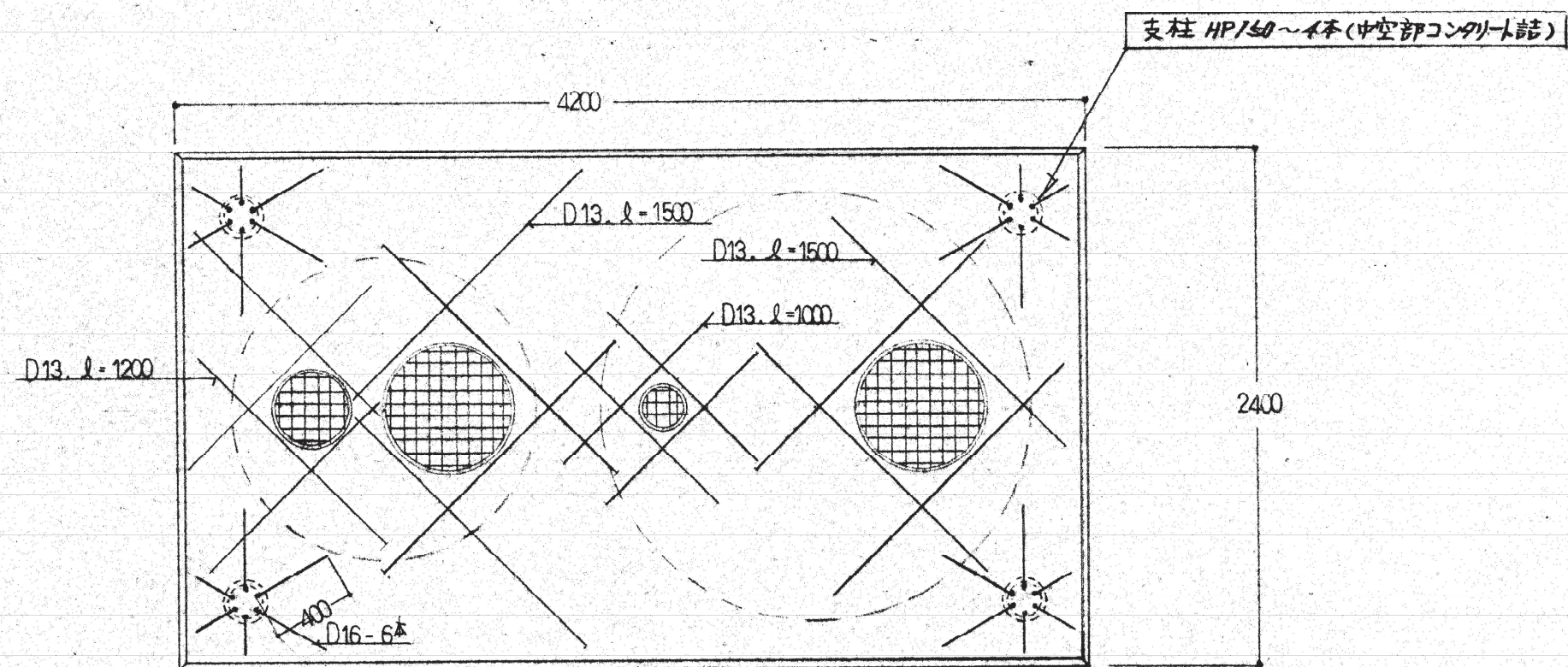
浄化槽 スラブ補強図 S=1/20

57-1棟、57-2棟、57-3棟
に係る範囲は工事対象外とする。

特記

- ・GL-500mmまでの全て撤去・購入土にて埋戻し
- ・水抜き用に穴抜き
- ・内部の汚泥抜き取り及び清掃作業（別途工事）
- ・内部機材は撤去



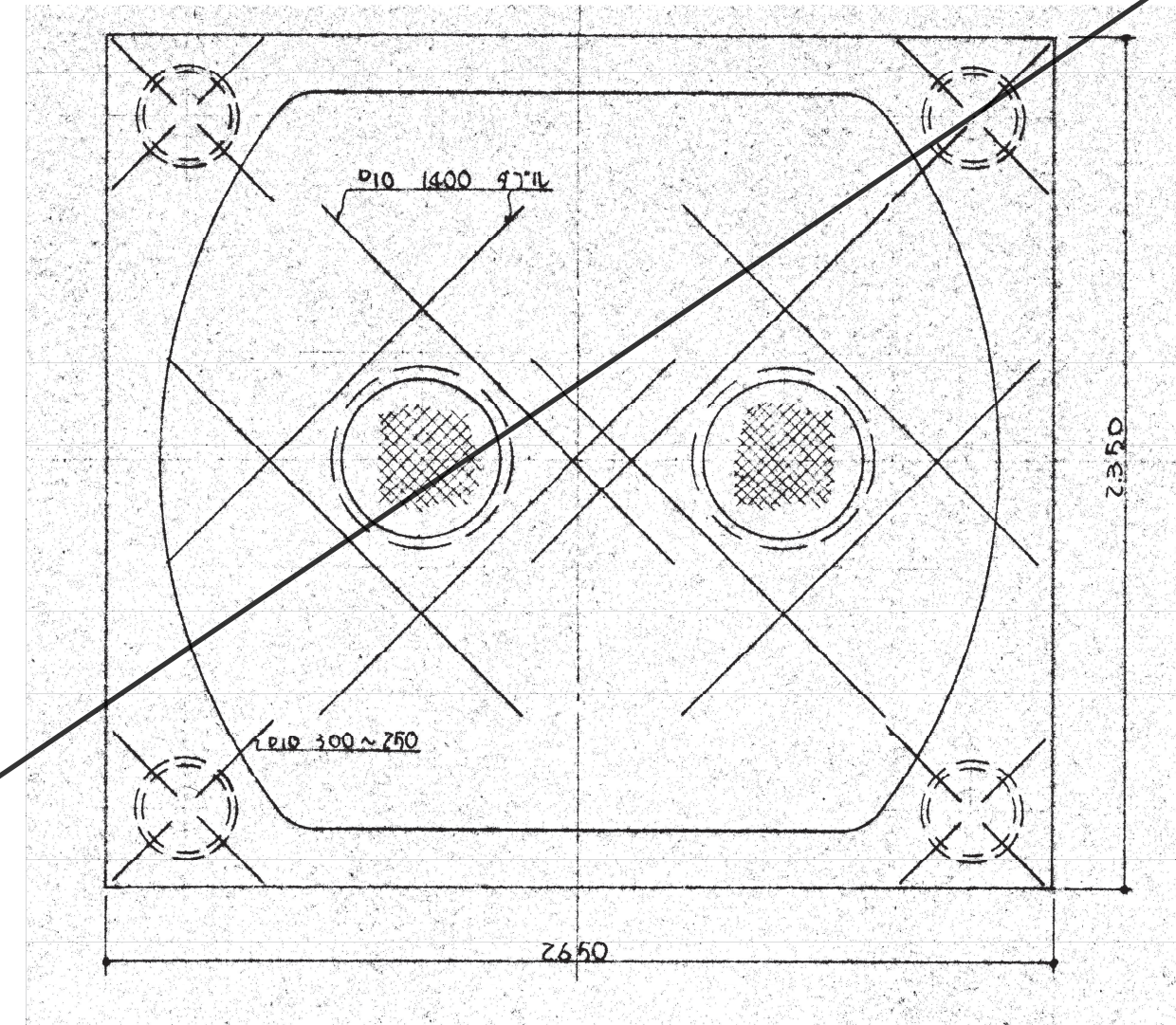
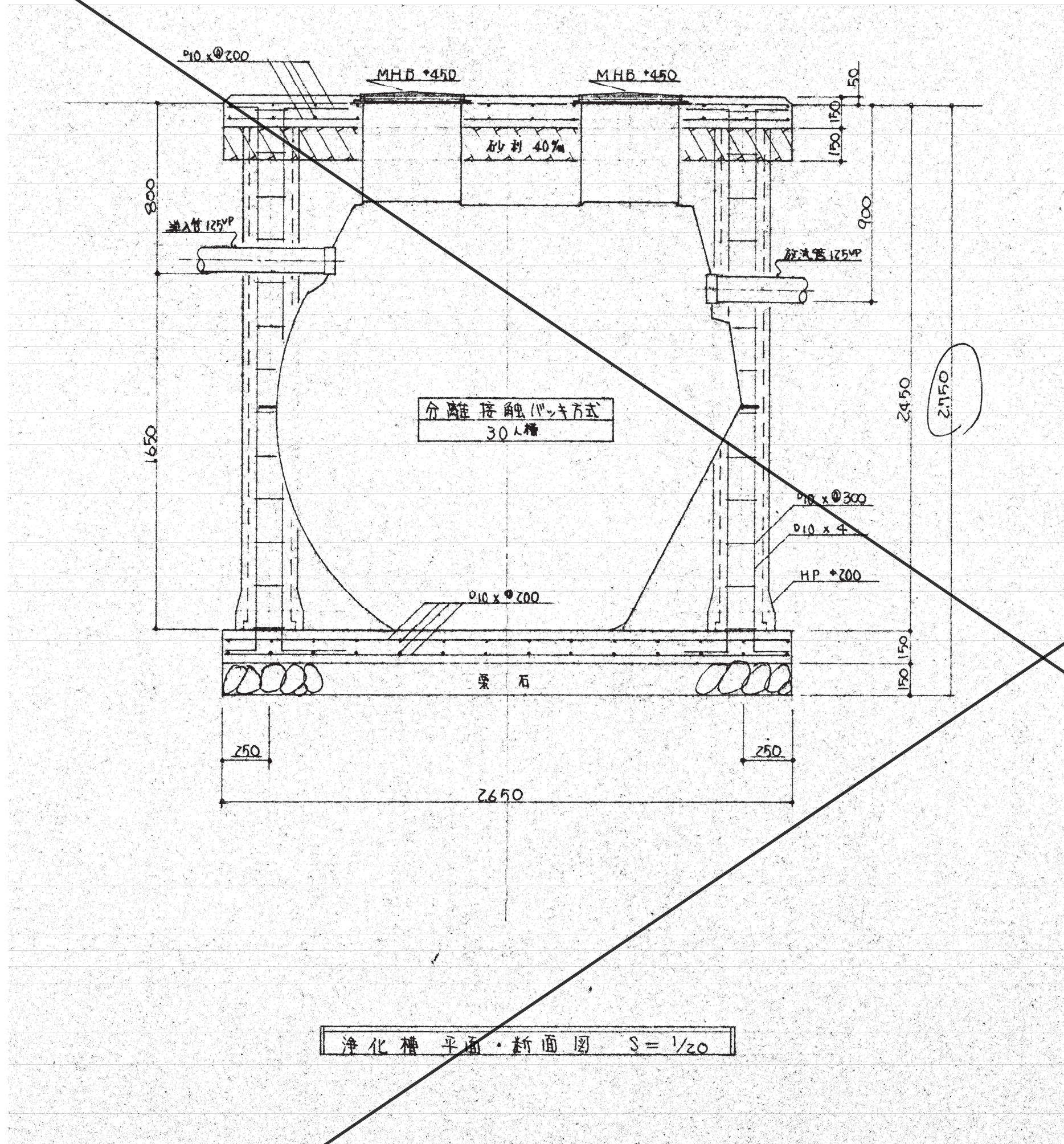


浄化槽据付図 S = 1:30 ※ 矢板打ち施工のこと

特記

- ・ GL-500mmまでの全て撤去・購入土にて埋戻し
- ・ 水抜き用に穴抜き
- ・ 内部の汚泥抜き取り及び清掃作業（別途工事）
- ・ 内部機材は撤去



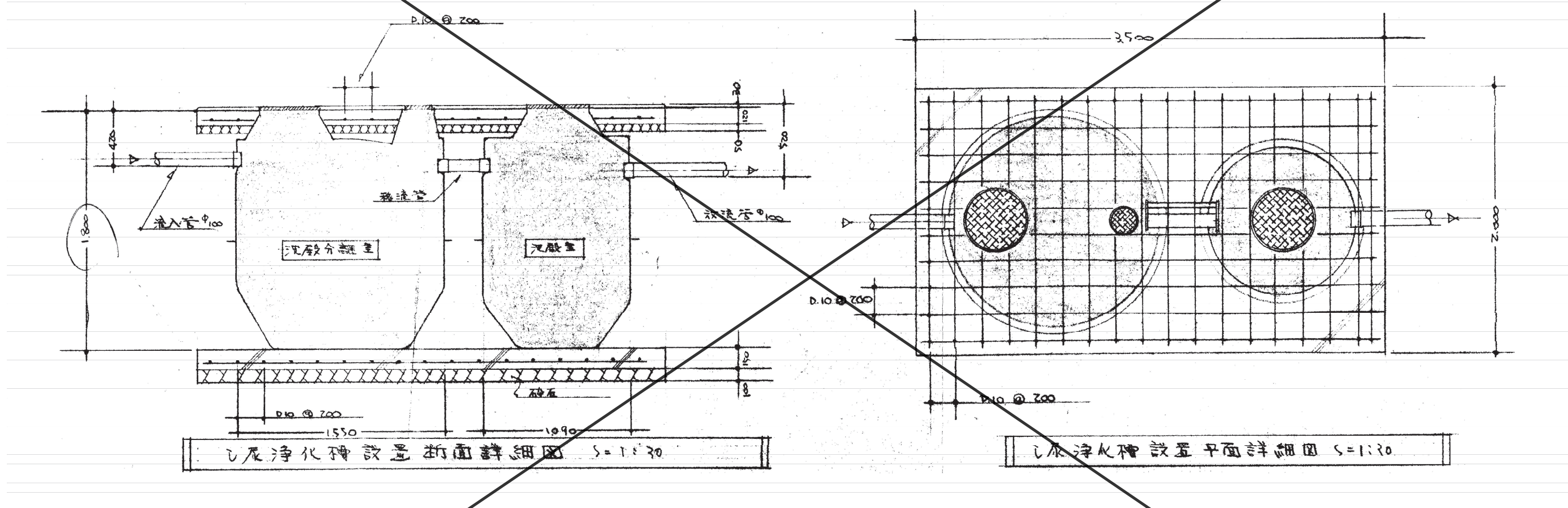


59-1棟、59-2棟に係る範囲
は工事対象外とする。

特記

- ・GL-500mmまでの全て撤去・購入土にて埋戻し
- ・水抜き用に穴抜き
- ・内部の汚泥抜き取り及び清掃作業（別途工事）
- ・内部機材は撤去





集会所に係る範囲は工事対象外とする。

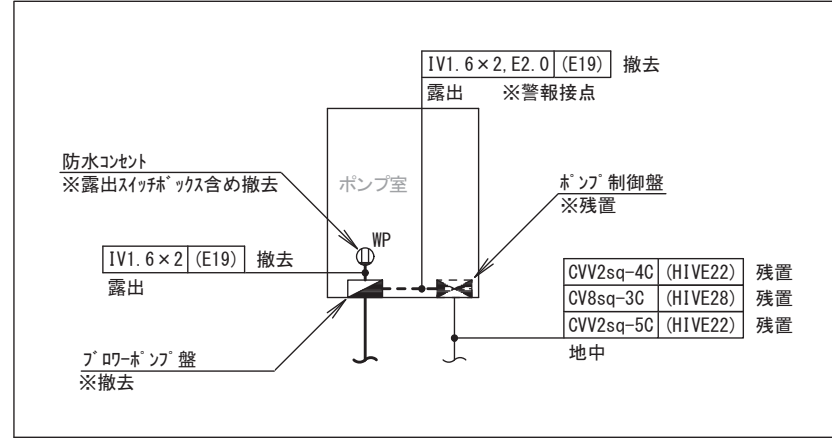
特記

- ・ GL-500mmまでの全て撤去・購入土にて埋戻し
- ・ 水抜き用に穴抜き
- ・ 内部の汚泥抜き取り及び清掃作業（別途工事）
- ・ 内部機材は撤去

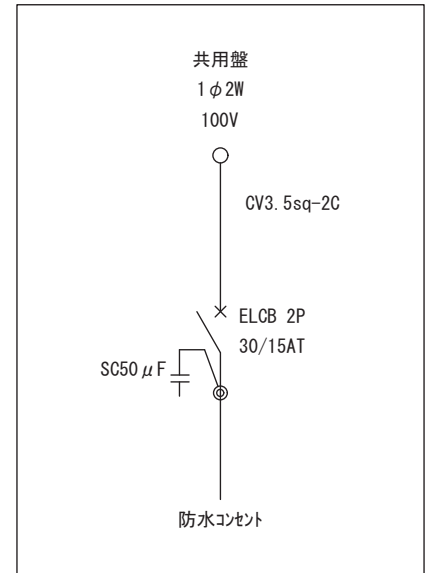


注 記	
1. 図中、太線の配管配線及びシンボルは撤去を示す。	
2. 図中、細破線の配管配線及びシンボルは残置を示す。	
3. 撤去配管に於いて、打込配管は残置とする。	
4. 図中、指示なきシンボルは標準図参照又は下記による。	
① WP	防水コンセント 2P15A×1
② 2ETWP	防水コンセント 2P15A×2 ET
5. 既存建物を事前に十分調査の上、施工を行うこと。	

57-1棟、57-2棟、
57-3棟、59-1棟、
59-2棟、集会所に係る
範囲は工事対象外とする。



ポンプ室詳細図 S=1:100



アウターボックス 結線図
(400×500×150 銅板製)

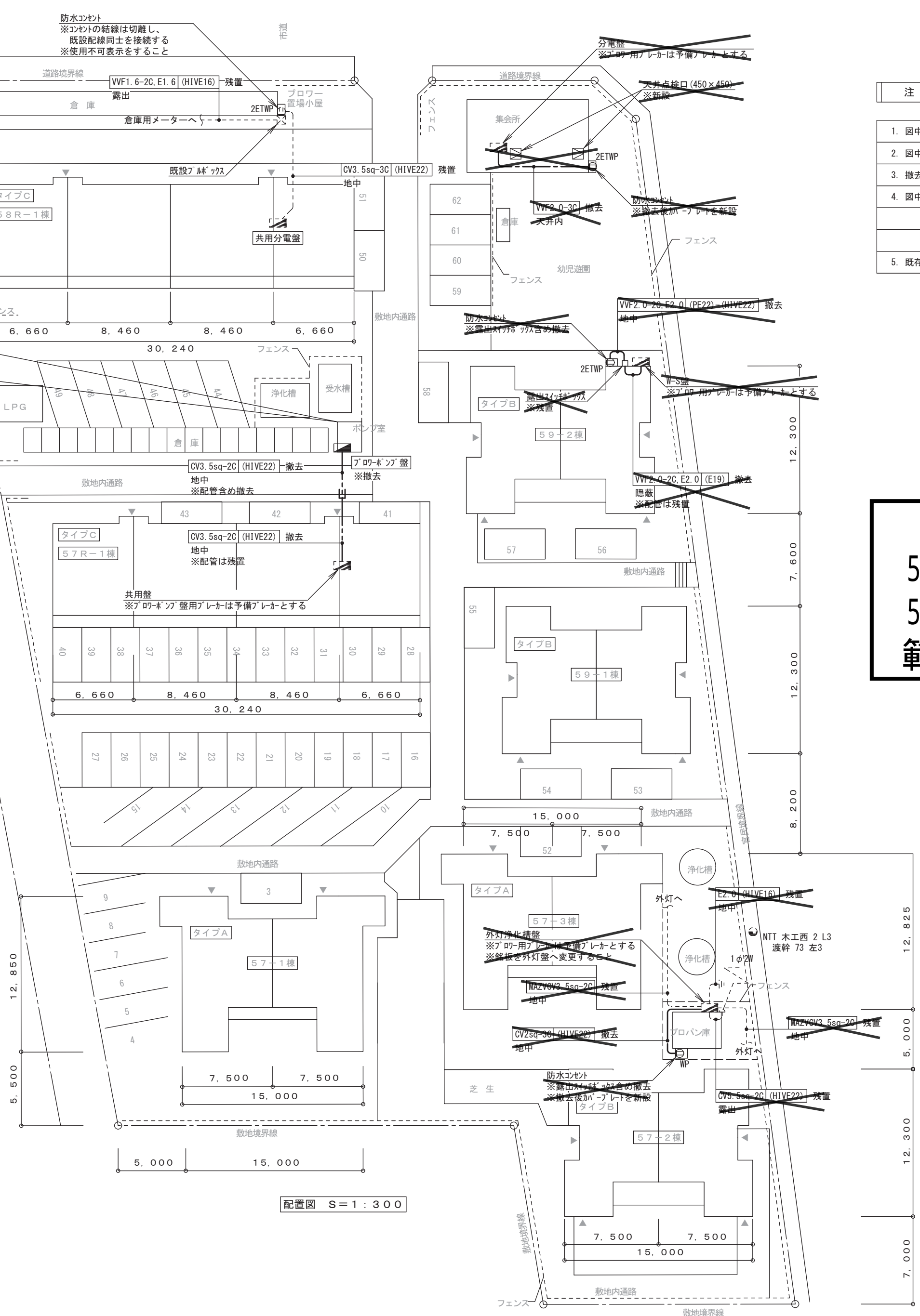
電気設備工事特記事項

特記仕様
一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、(印)の付いたものによる。

- ◎ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「標準仕様書」という。）
- ◎ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
- ◎ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「標準図」という。）

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和元年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。



配置図 S=1:300

